## 実務経験のある教員等による授業科目一覧

学科名(修業年限) 声 優 科 ( 2 年 )

	1年次		
授業科目名	単位 時間数	実務経験 教員	シラバス ページ番号
キャリアデザイン	60	0	VA1-01
発声基礎トレーニング	120	0	VA1-02
ナレーション実習(1)	120	0	VA1-03
アフレコ実習(1)	120	0	VA1-04
ラジオ番組制作(1)	60	0	VA1-05
MC実習	60	0	VA1-06
メディアワーク	60	0	VA1-07
オーディション対策(1)	120	0	VA1-08
自己表現技法(1)	120	0	VA1-09
オーディオドラマ制作	60	0	VA1-10
ヴォーカル実習	120	0	VA1-11
エンターテインメントガイド(1)	60	0	VA1-12

合計時間数

1080

学科名(修業年限) 声優アーティスト科(2年) 声優 タ レ ン ト 専 攻

	2年次		
授業科目名	単位 時間数	実務経験 教員	シラバス ページ番号
アフレコ実習(2)	120	0	VA2-14
ラジオ番組制作(2)	60	0	VA2-15
ナレーション実習	120	0	VA2-16
ダンスレッスン	60	0	VA2-17
取材実習	60	0	VA2-18
卒業制作	60	0	VA2-19
オーディション対策(2)	120	0	VA2-20
【選択A】自己表現技法(2)	120	0	VA2-21
【選択A】殺陣・アクション	120	0	VA2-22
【選択A】日本舞踊	60	0	VA2-23
【選択B】ヴォーカル実習(2)	120	0	VA2-24
【選択B】ヴォーカルレコーディング(2)	120	0	VA2-25
【選択B】ミュージックリテラシー(2)	60	0	VA2-26
エンターテインメントガイド(2)	60	0	VA2-27
ステージング実習(2)	60	0	VA2-28

合計時間数

1020

学科名(修業年限)

声 優 ア ー テ ィ ス ト 科 ( 2 年 ) ヴ ォ ー カ ル タ レ ン ト 専 攻

	2年次		
授業科目名	単位 時間数	実務経験 教員	シラバス ページ番号
アフレコ実習(2)	120	0	VA2-14
ラジオ番組制作(2)	60	0	VA2-15
ナレーション実習	120	0	VA2-16
ダンスレッスン	60	0	VA2-17
取材実習	60	0	VA2-18
卒業制作	60	0	VA2-19
オーディション対策(2)	120	0	VA2-20
【選択A】自己表現技法(2)	120	0	VA2-21
【選択A】殺陣・アクション	120	0	VA2-22
【選択A】日本舞踊	60	0	VA2-23
【選択B】ヴォーカル実習(2)	120	0	VA2-24
【選択B】ヴォーカルレコーディング(2)	120	0	VA2-25
【選択B】ミュージックリテラシー(2)	60	0	VA2-26
エンターテインメントガイド(2)	60	0	VA2-27
ステージング実習(2)	60	0	VA2-28

合計時間数

1020

授業科目名	キャリアデザイン(1)		担当者名		三浦	貴子	
	11,22,2,12(1)		実務経験	企業団	体教育研修・	秘書検定面接	審査員
教科書	2025年ビジネス能力検定ジョブパス 3級公式テキスト	単位数 4	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
	3級公式試験問題集	時間数 60	声優科	1年	通年	必修	講義
授業概要	社会人としての基本的な考え方を身に着l し、社会人としてふさわしい人物像へと成			マナー等の知	識を身に着け	、実践できる	事を目指
学習到達目標	・自身のキャリア形成の中で役立つ知識を・コミュニケーション能力を修得し他者との・自己分析を通じ、自己の柱を認識し、社会	)円滑な関係を	構築する。		ルールを理解	きる。	
評価方法	定期試験(60%)、演習(20%)、平常点(	20%)					
週数	授 業 卢	內 容			到達目標·勻	学習課題など	
1	ジョブパス試験概要・期待される社会人、「	職業人を目指し	τ	試験対策、キ	テャリア形成の	)基本的考え	方の習得
2	【第1編】第1章 キャリアと仕事へのアプ	ローチ		働く意識・仕	事への取り約	且み方を理解	
3	第2章 仕事の基本となる8つの意識/顧	客意識		お客さま満足	足度を高める	必要性と行動	か理解
4	第2章 仕事の基本となる8つの意識/品	質意識・納期意	識·時間意識	顧客意識を	中心とした7 <sup>-</sup>	つの意識の理	解
5	第2章 仕事の基本となる8つの意識/目 意識	標意識・協調意	識・改善意識・コスト	顧客意識を	中心とした7 <sup>-</sup>	つの意識の理	解
6	第3章 コミュニケーションの基本			社会人として解	てのコミュニク	ケーションの重	重要性を理
7	第3章 ビジネスマナーの基本			身だしなみ、 解	出社から退れ	注までの各種	ルールを理
8	第4章 指示の受け方と報告			仕事の指示 点	の受け方と完	了した時点で	での報告の要
9	第4章 連絡;相談の仕方と、忠告の受けが	5		社内外での	連携で必要な	各種手段と要	要点の理解
10	第5章 話し方のポイント			ビジネスの均 習得	易にふさわし	い話し方、正し	い敬語の
11	第5章 聞き方のポイント			聞く・聴く・記	刑くちからの?	習得	
12	第6章 来客応対の基本マナー			来客応対の 理解	基本、お客様	案内の仕方、	茶菓対応等
13	第6章 訪問の基本マナー			名刺交換、絲	留介の仕方、記	訪問の基本を	理解
14	第7章 会社関係でのつきあい			会食マナー、	冠婚葬祭の	基本を理解	
15	前期末試験			ジョブパス 認	食定3級レベノ	レの筆記試験	で習熟度確
16	【第2編】第1章 仕事への取り組み方			スケジュール	レ管理等、正確	館で計画的な	進め方
17	第1章 パソコンは仕事の基本・電子メール	ルの活用		パソコン活用	月での要点と	注意点の確認	3
18	第2章 ビジネス文書の基本・社内文書			社内文書の	種類と基本的	構成の理解	
19	第2章 ビジネス文書の基本・社外文書			社外文書の	種類と基本的	]構成、郵便の	理解
20	第3章 電話応対 電話の受け方・取り継ぎ	ぎ方		固定電話の	使い方から、	電話での言葉	遣いの理解
21	第3章 電話応対 電話のかけ方・携帯電話	舌のマナー		ロールプレイ つける	(ングを通して	て電話応対の	実践を身に
22	第4章 統計・データの読み方・まとめ方			表・グラフの	役割と特徴、	活用方法を理	里解
23	第5章 情報収集とメディアの活用 情報の 報収集	の取捨選択・イン	ノターネットからの情	情報収集の	手段と各特徴	の理解	
24	第5章 情報収集とメディアの活用 新聞が	からの情報収集	:	新聞の特徴	と種類、新聞	の読み方の理	解
25	第6章 会社を取り巻く環境と経済の基本			日本経済の	基本構造と変	化を理解	
26	ビジネス用語の基本			社会人として確に理解	て押さえてお	きたいビジネ	ス用語を正
27	ビジネス能力検定3級試験対策1			過去問題を	通して理解度	を確認	
28	ビジネス能力検定3級試験対策2			過去問題を	通して理解度	を確認	
29	ビジネス能力検定3級試験対策3			過去問題を	通して理解度	を確認	
30	学年末試験			ジョブパス 認	食定3級レベノ	レの筆記試験	で習熟度確

,		-	$\sim$
,	VΡ	۱ I –	02

					VA	1-02		
授業科目名	発声基礎トレーニング		担当者名		渡辺	美登利		
汉未行日右	光戸基礎ドレーニング		実務経験	声優、ステージ活動経験			ì	
教科書	・配布資料(プリント)	単位数 4	学科	学年	学期	科目種別	授業方法	
孙门目		時間数 120	声優科	1年 通年 必修				
授業概要	アーティスト、声優に必要な基礎知識、身体の							
学習到達目標	活字に慣れて文章をスラスラと読み上げる。	ことが出来る。	自分に合った声の出	し方を身に付	け無理のない	発声で話すこ	とが出来	
評価方法	出席率、授業態度、期末試験							
週数	授 業 内	容			到達目標・	学習課題など		
1	オリエンテーション、自	分の声を知る		自身	身の声質につ	いて理解を深	める	
2	業界の基礎知識、「四	吸」、「姿勢」				識について学 呼吸法、姿勢を		
3	「アクセント」「イントネー	・ション」を学ぶ	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		やイントネー	ションの違いる いて理解する		
4	「プロミネンス」「アーティキ:	ュレーション」を	ミ学ぶ			端切れを学ん	jî	
5								
6	- 発声、滑舌トレ-	-ニング		T 1 # 2		ングの習慣化		
7	五十音の再					かきを矯正、習 の違いを理解		
8								
9								
10	- - 発声、滑舌トレ-	-ー ^ / / j		<del></del>	ーディミ <i>,</i> コン/	果題の理解、網	<b>1</b> 22 2	
11	オーディション課題	練習、発表		自	身の強みを生	がした演技習 かした演技習 ッシュアップ	得	
12								
13	前期期末試験発表、作成		ـــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	7	ボイスサンプル	レについて学/	)ĭ + z	
14	前期期末記	験		1FA		パイントを理解		
15	試験課題の確認、			更		するための指	導	
16	発声、滑舌トレー				感覚を	取り戻す		
17	73, VASAL 1				17.170	)実力確認		
18								
19	・ 発声、滑舌トレー オーディション課題					、基礎を更に 度を上げる	固める	
20	-, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					ノ、滑らかに原 、出来るように		
21	-							
22								
	-							
23	-					「外郎売り」 <i>0</i> とを活かして		
24	発声、滑舌トレー 外郎売り(基礎				最終	的には		
25	-			滑らか		な発声、噛ます そるのが目標	けに読む	
26	-							
27					理解の	配点発表		
28	後期期末試験発表、練			Á		シトを理解する	3	
29	後期期末記			=	に内突を白く	(するための指	道	
30	試験課題の確認、	アドバイス				、9 るための指 きの課題を知る		

VA1-03

接換料名名	教科書         単位数 2 時間数 60           授業棚要 学習到達目標 発声などの基礎を学び、実際に課題に挑戦しながらナレー 評価方法 授業態度や出席率、試験を行うことで総合的に評価 週数 投業内容           週数 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日					
大具科学   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大	教科書					
数料理	教科書	実務経験	-	ナレーターと	として活動「 T	Þ
技術報   技術報   大レーションとは何か「伝えること」「表現すること」を学びます   大レーションのとは何か「伝えること」「表現すること」を学びます   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大	映画数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
学習別途目標	学習到達目標         発声などの基礎を学び、実際に課題に挑戦しながらナレー評価方法           調数         授業 内容           1         オリエンテーション           2         業界用語について・アクセント辞典の引き           3         発声トレーニング③(な行/な行/体行/だ行           4         発声トレーニング③(な行/は行/は行/は行/は行/は           5         発声トレーニング③(な行/は行/は行/は行           6         発声トレーニング③(な行/や行)           7         発声トレーニング③(な行/や行)           8         表現トレーニング③「アクセント」           9         表現トレーニング③「アーティキュレーション           10         表現トレーニング⑤「アレージング」           13         表現トレーニング⑥「ボーズ」           14         表現トレーニング⑥「アレージング」           13         表現トレーニング⑥「ボーズ」           14         表現トレーニング⑥「ボーズ」           15         前期未テスト           16         ナレーション①を融資           17         ナレーション②を融資           18         商品にあったナレーション           20         映画・番組の魅力が伝わるナレーション           21         ナレーション③番組ナレーション           22         ジャンルに応じて読み分ける           23         ナレーション④案内ナレーション           24         台本の理解と表現力を学ぶ           25         ナレーション⑤を案内ナレーション           26         聞き手に確実に情報を届けることを意識           ナレーション⑥さまざまなナレーション           28	声優科	1年	通年	必修	講義·実習
評価方法   授業極度や出席率、試験を行うことで総合的に評価   対議目標・学習課題など   技業内容   対議目標・学習課題など   技業内容・発声練習についての説明を実施   大学内部について・アクセント辞典の引き方   業界用題の運解と辞典の引き方を覚える   発声トレーニング②(あ行/か行/が行)   の発音の基礎(母音)を学ぶ   単語・文章をよみながら   発声トレーニング③(な行/は行/が行)   単語・文章をよみながら   発声トレーニング③(な行/は行/が行)   伊語・文章をよみながら   発声トレーニング③(な行/は行/が行)   伊語・文章をよみながら   発声トレーニング③(な行/は行/が行)   伊語・文章をよみながら   発声トレーニング③(な行/は行/が行)   伊語・文章をよみながら   発力トレーニング③(な行/は行/が行)   伊語・文章をよみながら   発力トレーニング③(な行/は行/が行)   伊語・文章をよみながら   発力トレーニング③(な行/は行/が行)   伊語・文章をよみながら   発力トレーニング③(な行/は行/が行)   伊藤したまる言葉の調子を知る   お裏巾レーニング③(すわけん)   伊藤による言葉の調子を知る   中華によいグ③「プロミネンス」   指摘すらばついて学ぶ   推議するによっと更要な部分を伝える方法を学ぶ   大阪大田・ニング③「パー・ス」   港切な間の取り方を学ぶ   本規トレーニング④「パー・ズ」   港切な間の取り方を学ぶ   本規トレーニング④「パー・ズ」   港切な間の取り方を学ぶ   日の長さ・強弱を生かし音声の流れを作る   学記テスト   単語を理解し、状況に応じた表現について理解する   サレーションの機能・指針トレーション   南部にあったナレーションを直接する   中ナレーションの機を読み   中ナレーションの機能が上レーション   東那に学んだ発音や   表現力を生かして   ナレーションの連絡サレーション   カレーションの連絡サレーション   カレーションの連絡サレーション   カレーションの連絡サレーション   カレーションの連絡が上レーション   カレーションの連絡を持力を学ぶ   の自分の声を理解し   京稿に対してアブローチの方法を考える   間さ手に再実に情報を届けることを意識する   原稿に対してアブローチの方法を考える   世界・正確実に情報を届けることを意識する   原稿に対してアブローチの方法を考える   世界・正確実に情報を届けることを意識する   原稿に対してアブローチの方法を考える   世界・正確実に情報を届けることを意識する   原稿に対してアブローチの方法を考える   世界に再実に情報を届けることを意識する   原稿に対してアブローチの方法を考える   世界に再実に情報を届けることを意識する   東京 (本記述)   東京		がます				
<ul> <li>通数 投業内容</li> <li>別逢目標・宇智課題など</li> <li>1 オリエンテーション</li> <li>投集内容・発声検認についての説明を実施</li> <li>2 業界用語について・アクセント辞典の引き方</li> <li>3 発声トレーニングの(あ行/か行/が行)</li> <li>4 発声トレーニングの(お行/が行/が行)</li> <li>5 発声トレーニングの(な行/だ行/だ行/だ行)</li> <li>6 発声トレーニングの(な行/は行/状行/状行)</li> <li>7 発声トレーニングの(な行/は行/状行/状行)</li> <li>8 表現トレーニングの(お行/が行)</li> <li>9 表現トレーニングの(お行/が行/が行)</li> <li>9 表現トレーニングの(お行/か行/か行)</li> <li>9 表現トレーニングの(アクセント)</li> <li>10 表現トレーニングの(アクティンユ)</li> <li>11 表現トレーニングの(アクティキュレーション)</li> <li>12 表現トレーニングの(アクティキュレーション)</li> <li>13 表現トレーニングの(アクティキュレーション)</li> <li>14 表現トレーニングの(アインス)</li> <li>15 前期未テスト</li> <li>16 オレーションの連頻</li> <li>17 カレーションの使類</li> <li>18 商品にあったナレーションを意識する</li> <li>19 ナレーション公番組サー・ション</li> <li>19 カレーションの機両・番組予告ナレーション</li> <li>20 映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心がける</li> <li>21 オレーションの報介・説明ナレーション</li> <li>22 カアルルに応じて読みの付る</li> <li>23 オレーションの紹介・説明ナレーション</li> <li>24 台本の理解と表現力を学ぶ</li> <li>25 カレーションの音流の作る</li> <li>26 関連手に確実に情報を届けることを意識する</li> <li>17 原稿に対してアブローチの方法を考える</li> <li>18 原稿に対してアブローチの方法を考える</li> </ul>	週数   授業内容   1	ーション力を身につける	3			
オリエンテーション   投業内容・発声検診についての説明を実施   2	1 オリエンテーション 2 業界用語について・アクセント辞典の引き 3 発声トレーニング®(あ行/か行/が行) 4 発声トレーニング®(な行/は行/ば行/ば行/ば 5 発声トレーニング®(な行/は行/ば行/ば 6 発声トレーニング®(ま行/や行) 7 発声トレーニング®(ら行/わ行/ん) 8 表現トレーニング®「アクセント」 9 表現トレーニング®「アクセント」 10 表現トレーニング®「アーティキュレーション 11 表現トレーニング®「アーティキュレーション 12 表現トレーニング®「アーティキュレーション 13 表現トレーニング®「プレージング」 13 表現トレーニング®「プレージング」 14 表現トレーニング®「アレージコング」 15 前期未テスト 16 ナレーションの種類 17 ナレーションの種類 17 ナレーションのでMサレーション 18 商品にあったナレーションを診臓する 19 ナレーション②映画・番組予告ナレーションを診断する 19 ナレーション③番組ナレーションを心 21 ナレーション③番組ナレーション 22 ジャンルに応じて読み分ける 23 ナレーション④紹介・説明ナレーション 24 台本の理解と表現力を学ぶ 25 ナレーションの家内ナレーション 26 聞き手に確実に情報を届けることを意識 27 ナレーション⑥さまざまなナレーショコ					
2 業界用語について・アクセント辞典の引き方 業界用語の理解と辞典の引き方を覚える 3 発声トレーニングの(あ行/か行/が行) 4 発声トレーニングの(お行/か行/が行) 5 発声トレーニングの(は行/だ行/た行/だ行) 6 発声トレーニングの(は行/で行/た行/だ行) 6 発声トレーニングの(は行/で行/た行/だ行) 7 発声トレーニングの(お行/が行/が行) 8 表現トレーニングの(お行/か行/が行) 9 表現トレーニングの「アクセント」 6 の系価による言葉の調子を知る 9 表現トレーニングの「アクセント」 10 表現トレーニングの「アクセント」 11 表現トレーニングの「アクセント」 12 表現トレーニングの「アーティキュレーション」 13 表現トレーニングの「ボーズ」 2 表現トレーニングの「ボーズ」 14 表現トレーニングの「ボーズ」 15 前期未テスト 16 ナレーションの種類 17 ナレーションの種類 17 ナレーションのを育識する 17 ナレーションのを育識する 19 ナレーション公のオーレーション 18 商品にあったナレーションを育識する 19 ナレーション公の折しーション 19 前期に学んだ発音や 20 映画・番組の魅力が伝わるナレーション 21 カーション3番組ナレーション 22 ジャンルに応じて読み分ける 23 ナレーションの紹介・説明ナレーション 24 自本の理解と表現力を学ぶ 25 サレーションの案内ナレーション 26 関き手に確実に情報を配針する 27 「カーションを原稿を記み分ける 28 「関き手に確実に情報を駆けることを意識する 19 テレーションの紹介・説明ナレーション 29 「カーションを収録	2 業界用語について・アクセント辞典の引き 3 発声トレーニング①(あ行/か行/が行) 4 発声トレーニング②(な行/さ行/た行/だ 5 発声トレーニング③(な行/は行/は行/は 6 発声トレーニング③(な行/は行/は行/は 6 発声トレーニング③(ま行/や行) 7 発声トレーニング⑤(ら行/わ行/ん) 8 表現トレーニング⑥「アクセント」 9 表現トレーニング⑥「アクセント」 10 表現トレーニング⑥「アクセント」 11 表現トレーニング⑥「アーティキュレーション 12 表現トレーニング⑥「プロミネンス」 13 表現トレーニング⑥「ポーズ」 14 表現トレーニング⑥「ポーズ」 15 前期末テスト 16 ナレーションの種類 17 ナレーションの種類 17 ナレーションの検酬・番組予告ナレーションを心 19 サレーション②映画・番組予告ナレーションを 20 映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心 21 ナレーション③番組ナレーション 22 ジャンルに応じて読み分ける 23 ナレーション④紹介・説明ナレーション 24 台本の理解と表現力を学ぶ 25 ナレーション⑥案内ナレーション 26 聞き手に確実に情報を届けることを意識 27 ナレーション⑥さまざまなナレーショコ			到達目標・	学習課題など	
### (母音の基礎(母音)を学ぶ  ###・文章をよみながら  ##・文章をよみながら  ##・文章をよるながら  ##・文章をよるながら  ##・文章をよるながら  ##・文章をよるながら  ##・文章をよるながら  ##・文章をはまする  ##・文章を確認する  ##・文章を確認する  ##・文章を確認する  ##・文章を確認する  ##・文章を確認する  ##・文章を確認する  ##・文章を確認する  ##・表現トレーニングの「アクセント」  ##・歯切れの良さについて学ぶ  ##・歯切れの良むについて学ぶ  ##・歯切れの取り方を学ぶ  ##・歯切な間の取り方を学ぶ  ##・歯切な間の取り方を学ぶ  ##・を記する  ##・を記するとを意識する  ##・を記する  ##・を記するとを記述する  ##・を記する  ##・を記するる  ##・を記する  ##・を記するる	3 発声トレーニング①(あ行/か行/が行: 4 発声トレーニング②(さ行/ざ行/た行/だ 5 発声トレーニング③(な行/は行/は行/は行/ば 6 発声トレーニング④(ま行/や行) 7 発声トレーニング⑤(ら行/わ行/ん) 8 表現トレーニング⑥(ら行/わ行/ん) 9 表現トレーニング③「アクセント」 9 表現トレーニング③「アロミネンス」 11 表現トレーニング⑥「アーティキュレーション 12 表現トレーニング⑥「アーティキュレーション 13 表現トレーニング⑥「ポーズ」 14 表現トレーニング⑥「ポーズ」 15 前期未テスト 16 ナレーションの配類 17 ナレーションのCMナレーション 18 商品にあったナレーションを意識する 19 ナレーション②映画・番組予告ナレーション 20 映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心 21 ナレーション②番組ナレーション 22 ジャンルに応じて読み分ける 17 ナレーション④紹介・説明ナレーション 24 台本の理解と表現力を学ぶ 25 ナレーション⑥家案内ナレーション 26 聞き手に確実に情報を届けることを意識 27 ナレーション⑥さまざまなナレーショコ		授業内容	容・発声練習に	こついての説明	明を実施
4 発声トレーニング②(さ行/で行/た行/だ行) 単語・文章をよみながら 9 発声トレーニング③(な行/は行/は行/は行) 6 発声トレーニング③(な行/は行/は行) 7 発声トレーニング③(な行/は行/は行) 8 表現トレーニング③(ら行/わ行/ん) 7 発力トレーニング③(ラ行/セライ) 9 表現トレーニング③「アクセント」 10 表現トレーニング③「プロミネンス」 2 表現トレーニング③「プロミネンス」 2 表現トレーニング③「アーティキュレーション」 11 表現トレーニング③「アーティキュレーション」 12 表現トレーニング⑤「フレージング」 2 表現トレーニング⑤「フレージング」 2 表現トレーニング⑥「ブレージング」 2 表現トレーニング⑥「ブレージング」 2 表現トレーニング⑥「ブレージング」 2 表現トレーニング⑥「ブレージング」 2 表現トレーニング⑥「ブレージング」 2 表現トレーニング⑥「プレージング」 2 表現トレーニング⑥「プレージング」 2 表現トレーニング⑥「プレージング」 2 表現トレーニング⑥「プレージョング 2 おりな間の取り方を学ぶ 2 おりままないで、主義の会と、主義の会と、主義の会と、主義のとないで、主義のと、主義のと、主義のと、主義のと、主義のと、主義のと、主義のと、主義のによった。アルーションの権類 2 は カレーションのを意識する 2 は カレーションのと、意識する 2 は カレーションの要素の主レーション 2 は カレーションの薬素の主しーション 2 は カレーションの薬素の主要素と表現力を学ぶ ②自分の声を理解し 原稿に対してアブローチの方法を考える 図き手に確実に情報を届けることを意識する 図き手に確実に情報を届けることを意識する 図き手に確実に情報を届けることを意識する 図き手に確実に情報を届けることを意識する 図き手に確実に情報を届けることを意識する の自分の声を理解し 原稿に対してアブローチの方法を考える の自分の声を考える の自分の声を考える の自分の声を考える の自分の声を考える の自分の声を考える の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を表現る の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分の声を要素 の自分 の自分 の自分 の自分 の自分 の自分 の自分 の自分 の の の の の の の の の の	4 発声トレーニング②(さ行/ざ行/た行/だ 5 発声トレーニング③(な行/は行/は行/は行/は 6 発声トレーニング③(な行/は行/は行/は 7 発声トレーニング⑤(ら行/わ行/ん) 8 表現トレーニング⑥(ら行/わ行/ん) 9 表現トレーニング⑥「アクセント」 10 表現トレーニング⑥「アーティキュレーショ 12 表現トレーニング⑥「アーティキュレーショ 12 表現トレーニング⑥「ポーズ」 13 表現トレーニング⑥「ポーズ」 14 表現トレーニング⑥「ポーズ」 15 前期末テスト 16 ナレーションの種類 17 ナレーションのMMの 番組予告ナレーション 18 商品にあったナレーションを意識する 19 ナレーション②映画・番組予告ナレーションを心 21 ナレーション③番組ナレーションを心 21 カーション③番組ナレーションを心 21 カーション④紹介・説明ナレーション 22 ジャンルに応じて読み分ける 23 ナレーション④紹介・説明ナレーション 24 台本の理解と表現力を学ぶ 25 ナレーション⑥家へオナレーション 26 関き手に確実に情報を届けることを意識 27 ナレーション⑥さまざまなナレーション	き方	業界用	語の理解と辞	辛典の引き方を	党える
5         発声トレーニング③(な行/は行/は行/は行)         録音して聴くことで           6         発声トレーニング④(な行/や行)         明療に発音できているか           7         発声トレーニング⑤(ら行/や行)         開療に発音できているか           8         表現トレーニング⑥(アクセント」         音の高低による言葉の調子を知る           9         表現トレーニング⑥(アクセント」         強調することで重要な彫りを伝える方法を学ぶ           10         表現トレーニング⑥(アーティキュレーション」         滑舌・歯切れの良さについて学ぶ           11         表現トレーニング⑥(アーティキュレーション」         漁店・歯切れの良さについて学ぶ           12         表現トレーニング⑥(アーティキュレーション」         漁店・歯切れの良さについて学ぶ           13         表現トレーニング⑥(アーティキュレーション」         漁のの取り力を学ぶ           14         表現トレーニング⑥「オーズ」         適のを聞の取り力を学ぶ           15         前期未テスト         筆記テスト           16         ナレーションの座類         種類を理解し、状況に応じた表現について理解する           17         ナレーションのE機算         ⑩ナレーション原稿を読み           19         オレーションの受験画・番組の魅力が伝わるナレーション         前期に学んだ発音や           20         映画・番組の魅力が伝わるナレーション         表現力を生かして           21         オレーション③番組・ナレーション         シャンルに応じて読み分ける           23         オレーションの薬内・説明サレーション         ⑥自分の声を理解し           25         オレーションの薬内・説明ナレーション         原稿に対してアプローチの方法を考える           26         間き手に確実に情報を届けることを意識する         原稿に対してアプローチの方法を考える	5 発声トレーニング③(な行/は行/ば行/ば 6 発声トレーニング④(ま行/や行) 7 発声トレーニング⑥(ら行/わ行/ん) 8 表現トレーニング⑥(ら行/わ行/ん) 9 表現トレーニング③「アクセント」 10 表現トレーニング③「プロミネンス」 11 表現トレーニング⑥「アクセント」 12 表現トレーニング⑥「フレージング」 13 表現トレーニング⑥「フレージング」 14 表現トレーニング⑥「リズム」 15 前期未テスト 16 ナレーションの種類 17 ナレーションの種類 17 かーションの種類 17 かーション②映画・番組予告ナレーション 20 映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心 21 ナレーション③番組ナレーション 22 ジャンルに応じて読み分ける 23 ナレーション④紹介・説明ナレーション 24 台本の理解と表現力を学ぶ 25 ナレーション⑤案内ナレーション 26 聞き手に確実に情報を届けることを意識 27 ナレーション⑥さまざまなナレーション	ī)	(	◎発音の基礎	歴(母音)を学ぶ	ï,
6 発声トレーニング®(ま行/や行) 明際に発音できているか	6 発声トレーニング④(ま行/や行) 7 発声トレーニング⑤(ら行/わ行/ん) 8 表現トレーニング⑥(ら行/わ行/ん) 9 表現トレーニング⑥「アクセント」 10 表現トレーニング⑥「アーティキュレーショ 11 表現トレーニング⑥「アーティキュレーショ 12 表現トレーニング⑥「アーティキュレーショ 13 表現トレーニング⑥「ポーズ」 14 表現トレーニング⑥「ポーズ」 15 前期末テスト 16 ナレーションの種類 17 ナレーションの個類 17 ナレーションののが一が伝わるナレーションを意識する 19 ナレーション②映画・番組予告ナレーションを 20 映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心 21 ナレーション③番組ナレーション 22 ジャンルに応じて読み分ける 23 ナレーション④紹介・説明ナレーション 24 台本の理解と表現力を学ぶ 15 カナレーションのできまざまなナレーション 26 関き手に確実に情報を届けることを意識 27 ナレーション⑥さまざまなナレーション	ご行)		単語・文章を	をよみながら	
7         発声トレーニング⑤(ら行/わ行/ん)         得意・不得意を確認する           8         表現トレーニング⑥「アクセント」         音の高低による言葉の調子を知る           9         表現トレーニング⑥「プロミネンス」         強調することで重要な部分を伝える方法を学ぶ           11         表現トレーニング⑥「アーティキュレーション」         滑舌・歯切れの良さについて学ぶ           12         表現トレーニング⑥「プレージング」         意味を正しく理解し区切る。区節法を学ぶ           13         表現トレーニング⑥「ポーズ」         適切な間の取り方を学ぶ           14         表現トレーニング⑥「パーズ」         音の長さ・強弱を生かし音声の流れを作る           15         前期未テスト         筆記テスト           16         ナレーションの区州ナレーション         種類を理解し、状況に応じた表現について理解する           17         ナレーションのCMナレーション         前期に学んだ発音や           20         映画・番組の魅力が伝わるナレーションを必がける         表現力を生かして           21         ナレーション(3番組ナレーション         表現力を生かして           22         ジャンルに応じて読み分ける         ま現力を生かして           23         ナレーション(3番組ナレーション         ⑥自分の声を理解し           25         ナレーション(5案内ナレーション         原稿に対してアプローチの方法を考える           26         聞き手に確実に情報を届けることを意識する         原稿に対してアプローチの方法を考える	7 発声トレーニング⑤(ら行/わ行/ん) 8 表現トレーニング③「アクセント」 9 表現トレーニング②「イントネーション」 10 表現トレーニング③「プロミネンス」 11 表現トレーニング⑥「アーティキュレーショ 12 表現トレーニング⑥「プレージング」 13 表現トレーニング⑥「ポーズ」 14 表現トレーニングの「リズム」 15 前期末テスト 16 ナレーションの種類 17 ナレーションの配類 17 ナレーションのでのイナレーション 18 商品にあったナレーションを意識する 19 ナレーション②映画・番組予告ナレーションを 20 映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心 21 ナレーション③番組ナレーション 22 ジャンルに応じて読み分ける 23 ナレーション④紹介・説明ナレーション 24 台本の理解と表現力を学ぶ 25 ナレーション⑤案内ナレーション 26 聞き手に確実に情報を届けることを意識 27 ナレーション⑥さまざまなナレーション	ぱ行)		録音して	聴くことで	
8 表現トレーニングの「アクセント」 音の高低による言葉の調子を知る 9 表現トレーニングの「イントネーション」 抑揚について学ぶ 10 表現トレーニングの「プロミネンス」 強調することで重要な部分を伝える方法を学ぶ 11 表現トレーニングの「アーティキュレーション」 消舌・歯切れの良さについて学ぶ 12 表現トレーニングの「ポーズ」 適切な間の取り方を学ぶ 14 表現トレーニングの「パーズ」 適切な間の取り方を学ぶ 15 前期未テスト 第記テスト 16 ナレーションの種類 種類を理解し、状況に応じた表現について理解する 17 ナレーションのCMナレーション 18 商品にあったナレーションを意識する のナレーション原稿を読み 19 ナレーション②映画・番組予告ナレーション 前期に学んだ発音や 20 映画・番組の魅力が伝わるナレーションとをがける 表現力を生かして 21 ナレーション③番組ナレーション 22 ジャンルに応じて読み分ける 23 ナレーション④紹介・説明ナレーション 24 台本の理解と表現力を学ぶ の自分の声を理解し 原稿に対してアプローチの方法を考える 18 原稿に対してアプローチの方法を考える 19 カーションの案内ナレーション	8 表現トレーニング①「アクセント」 9 表現トレーニング②「イントネーション 10 表現トレーニング③「プロミネンス」 11 表現トレーニング③「アーティキュレーショ 12 表現トレーニング⑥「プレージング」 13 表現トレーニング⑥「ポーズ」 14 表現トレーニング⑦「リズム」 15 前期末テスト 16 ナレーションの種類 17 ナレーションの種類 17 サレーションでのMナレーション 18 商品にあったナレーションを意識する 19 ナレーション②映画・番組予告ナレーショ 20 映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心 21 ナレーション③番組ナレーション 22 ジャンルに応じて読み分ける 23 ナレーション④紹介・説明ナレーション 24 台本の理解と表現力を学ぶ 25 ナレーション⑤案内ナレーション 26 聞き手に確実に情報を届けることを意識 27 ナレーション⑥さまざまなナレーション			明瞭に発音	できているか	
9       表現トレーニング②「イントネーション」       抑揚について学ぶ         10       表現トレーニング③「アーティキュレーション」       強調することで重要な部分を伝える方法を学ぶ         11       表現トレーニング⑤「アーティキュレーション」       滑舌・歯切れの良さについて学ぶ         12       表現トレーニング⑥「ポーズ」       適切な間の取り方を学ぶ         13       表現トレーニング⑥「ポーズ」       適切な間の取り方を学ぶ         14       表現トレーニング⑥「ポーズ」       音の長さ・強弱を生かし音声の流れを作る         15       前期未テスト       筆記テスト         16       ナレーションの種類       種類を理解し、状況に応じた表現について理解する         17       ナレーションのCMナレーション	9 表現トレーニング②「イントネーション」 10 表現トレーニング③「プロミネンス」 11 表現トレーニング③「アーティキュレーショ 12 表現トレーニング⑤「プレージング」 13 表現トレーニング⑥「ポーズ」 14 表現トレーニングの「リズム」 15 前期末テスト 16 ナレーションの種類 17 ナレーションの種類 19 ナレーションを意識する 19 ナレーション②映画・番組予告ナレーションを 20 映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心 21 ナレーション③番組ナレーション 22 ジャンルに応じて読み分ける 23 ナレーション④紹介・説明ナレーション 24 台本の理解と表現力を学ぶ 25 ナレーション⑤案内ナレーション 26 聞き手に確実に情報を届けることを意識 27 ナレーション⑥さまざまなナレーション 28	)		得意·不得意	意を確認する	
10 表現トレーニング③「プロミネンス」 強調することで重要な部分を伝える方法を学ぶ 11 表現トレーニング④「アーティキュレーション」 滑舌・歯切れの良さについて学ぶ 12 表現トレーニング⑥「プレージング」 意味を正しく理解し区切る、区節法を学ぶ 13 表現トレーニング⑥「ポーズ」 適切な間の取り方を学ぶ 14 表現トレーニング①「リズム」 音の長さ・強弱を生かし音声の流れを作る 15 前期未テスト 筆記テスト 第記テスト 第記テスト 16 ナレーションの種類 種類を理解し、状況に応じた表現について理解する 17 ナレーションののMサレーション 18 商品にあったナレーションを意識する 0ナレーション原稿を読み 前期に学んだ発音や 20 映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心がける 表現力を生かして 17 ナレーション③番組ナレーション カレーションの③番組ナレーション クキンルに応じて読み分ける 21 ナレーション④紹介・説明ナレーション ウキンルに応じて読み分ける 19 ナレーション④紹介・説明ナレーション 原稿に対してアプローチの方法を考える 19 サレーション⑤素内ナレーション 原稿に対してアプローチの方法を考える 10 原稿に対してアプローチの方法を考える 11 原稿に対してアプローチの方法を発	10 表現トレーニング③「プロミネンス」 11 表現トレーニング④「アーティキュレーショ 12 表現トレーニング⑤「フレージング」 13 表現トレーニング⑥「ポーズ」 14 表現トレーニング⑦「リズム」 15 前期末テスト 16 ナレーションの種類 17 ナレーションの種類 17 ナレーションのでののサレーション 18 商品にあったナレーションを意識する 19 ナレーション②映画・番組予告ナレーション 20 映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心 21 ナレーション③番組ナレーション 22 ジャンルに応じて読み分ける 23 ナレーション④紹介・説明ナレーション 24 台本の理解と表現力を学ぶ 25 ナレーション⑥案内ナレーション 26 聞き手に確実に情報を届けることを意識 27 ナレーション⑥さまざまなナレーション		音0	う高低による	言葉の調子を	知る
11 表現トレーニング®「アーティキュレーション」   滑舌・歯切れの良さについて学ぶ   12 表現トレーニング®「アーティキュレーショング   意味を正しく理解し区切る、区節法を学ぶ   13 表現トレーニング®「ボーズ」   適切な間の取り方を学ぶ   14 表現トレーニング®「ボーズ」   音の長さ・強弱を生かし音声の流れを作る   15 前期未テスト	11 表現トレーニング④「アーティキュレーショ 12 表現トレーニング⑤「フレージング」 13 表現トレーニング⑥「ポーズ」 14 表現トレーニング⑦「リズム」 15 前期末テスト 16 ナレーションの種類 17 ナレーションの種類 19 ナレーションを意識する 19 ナレーション②映画・番組予告ナレーショ 20 映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心 21 ナレーション③番組ナレーション 22 ジャンルに応じて読み分ける 23 ナレーション④紹介・説明ナレーション 24 台本の理解と表現力を学ぶ 25 ナレーション⑤案内ナレーション 26 聞き手に確実に情報を届けることを意識 27 ナレーション⑥さまざまなナレーショコ	ر/		抑揚にて	ついて学ぶ	
12 表現トレーニング⑤「フレージング」 意味を正しく理解し区切る、区節法を学ぶ 13 表現トレーニング⑥「ポーズ」 適切な間の取り方を学ぶ 14 表現トレーニング⑦「リズム」 音の長さ・強弱を生かし音声の流れを作る 15 前期末テスト 筆記テスト 16 ナレーションの種類 種類を理解し、状況に応じた表現について理解する 17 ナレーションのCMナレーション 18 商品にあったナレーションを意識する のナレーション原稿を読み 19 ナレーション②映画・番組予告ナレーション 前期に学んだ発音や 20 映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心がける 表現力を生かして 21 ナレーション③番組ナレーション ナレーションを収録 22 ジャンルに応じて読み分ける 23 ナレーション④紹介・説明ナレーション ⑤自分の声を理解し 25 ナレーション⑤案内ナレーション 原稿に対してアブローチの方法を考える 26 聞き手に確実に情報を届けることを意識する	12 表現トレーニング⑤「フレージング」 13 表現トレーニング⑥「ポーズ」 14 表現トレーニング⑦「リズム」 15 前期末テスト 16 ナレーションの種類 17 ナレーション①CMナレーション 18 商品にあったナレーションを意識する 19 ナレーション②映画・番組予告ナレーショ 20 映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心 21 ナレーション③番組ナレーション 22 ジャンルに応じて読み分ける 23 ナレーション④紹介・説明ナレーション 24 台本の理解と表現力を学ぶ 25 ナレーション⑤案内ナレーション 26 聞き手に確実に情報を届けることを意識 27 ナレーション⑥さまざまなナレーション 28		強調するこ	とで重要な	部分を伝える	方法を学ぶ
13 表現トレーニング⑥「ポーズ」 適切な間の取り方を学ぶ   14 表現トレーニング⑥「リズム」 音の長さ・強弱を生かし音声の流れを作る   15 前期末テスト	13 表現トレーニング⑥「ポーズ」 14 表現トレーニング⑦「リズム」 15 前期未テスト 16 ナレーションの種類 17 ナレーション①CMナレーション 18 商品にあったナレーションを意識する 19 ナレーション②映画・番組予告ナレーショ 20 映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心 21 ナレーション③番組ナレーション 22 ジャンルに応じて読み分ける 23 ナレーション④紹介・説明ナレーション 24 台本の理解と表現力を学ぶ 25 ナレーション⑤案内ナレーション 26 聞き手に確実に情報を届けることを意識 27 ナレーション⑥さまざまなナレーション	ョン」	滑音	舌・歯切れの月	良さについて	学ぶ
14 表現トレーニングの「リズム」	14 表現トレーニング⑦「リズム」 15 前期末テスト 16 ナレーションの種類 17 ナレーション①CMナレーション 18 商品にあったナレーションを意識する 19 ナレーション②映画・番組予告ナレーショ 20 映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心 21 ナレーション③番組ナレーション 22 ジャンルに応じて読み分ける 23 ナレーション④紹介・説明ナレーション 24 台本の理解と表現力を学ぶ 25 ナレーション⑤案内ナレーション 26 聞き手に確実に情報を届けることを意識 27 ナレーション⑥さまざまなナレーション 28		意味を	正しく理解し	区切る、区節法	法を学ぶ
15   前期末テスト   筆記テスト   第記テスト   16   ナレーションの種類   種類を理解し、状況に応じた表現について理解する   17   ナレーション①CMナレーション   18   商品にあったナレーションを意識する   ②ナレーション原稿を読み   19   ナレーション②映画・番組予告ナレーション   前期に学んだ発音や   20   映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心がける   表現力を生かして   21   ナレーション③番組ナレーション   ナレーションを収録   22   ジャンルに応じて読み分ける   フレーション④紹介・説明ナレーション   ②自分の声を理解し   10   10   10   10   10   10   10   1	15 前期未テスト 16 ナレーションの種類 17 ナレーション①CMナレーション 18 商品にあったナレーションを意識する 19 ナレーション②映画・番組予告ナレーショ 20 映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心 21 ナレーション③番組ナレーション 22 ジャンルに応じて読み分ける 23 ナレーション④紹介・説明ナレーション 24 台本の理解と表現力を学ぶ 25 ナレーション⑤案内ナレーション 26 聞き手に確実に情報を届けることを意識 27 ナレーション⑥さまざまなナレーション 28			適切な間の	取り方を学ぶ	
16 ナレーションの種類 種類を理解し、状況に応じた表現について理解する 17 ナレーション①CMナレーション 18 商品にあったナレーションを意識する ②ナレーション原稿を読み 19 ナレーション②映画・番組予告ナレーション 前期に学んだ発音や 20 映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心がける 表現力を生かして 21 ナレーション③番組ナレーション ナレーションを収録 22 ジャンルに応じて読み分ける 23 ナレーション④紹介・説明ナレーション ③自分の声を理解し 25 ナレーション⑤案内ナレーション 原稿に対してアプローチの方法を考える 19 プレーションの第内ナレーション 原稿に対してアプローチの方法を考える	16		音の長さ	さ・強弱を生た	かし音声の流れ	1を作る
17	17			筆記	テスト	
18   商品にあったナレーションを意識する   ②ナレーション原稿を読み   19   ナレーション②映画・番組予告ナレーション   前期に学んだ発音や   20   映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心がける   表現力を生かして   フレーション③番組ナレーション   ナレーションを収録   ファンルに応じて読み分ける   ファンルに応じて表現力を学ぶ   ②自分の声を理解し   ファンル・ション・⑤案内ナレーション   原稿に対してアプローチの方法を考える   聞き手に確実に情報を届けることを意識する   日本の理解と表現力を言識する   日本の方法を考える   日本の方法を表える   日本の方法を	18 商品にあったナレーションを意識する 19 ナレーション②映画・番組予告ナレーショ 20 映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心 21 ナレーション③番組ナレーション 22 ジャンルに応じて読み分ける 23 ナレーション④紹介・説明ナレーション 24 台本の理解と表現力を学ぶ 25 ナレーション⑤案内ナレーション 26 聞き手に確実に情報を届けることを意識 27 ナレーション⑥さまざまなナレーション 28		種類を理解し	し、状況に応し	じた表現につい	ハて理解する
19       ナレーション②映画・番組予告ナレーション       前期に学んだ発音や         20       映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心がける       表現力を生かして         21       ナレーション③番組ナレーション       ナレーションを収録         22       ジャンルに応じて読み分ける         23       ナレーション④紹介・説明ナレーション         24       台本の理解と表現力を学ぶ       ⑥自分の声を理解し         25       ナレーション⑤案内ナレーション       原稿に対してアプローチの方法を考える         26       聞き手に確実に情報を届けることを意識する	19 ナレーション②映画・番組予告ナレーションを心 20 映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心 21 ナレーション③番組ナレーション 3キンルに応じて読み分ける 23 ナレーション④紹介・説明ナレーション 4本の理解と表現力を学ぶ カーション⑤案内ナレーション 16 関き手に確実に情報を届けることを意識 ファレーション⑥さまざまなナレーション 28  □ サレーション⑥さまざまなナレーション 3					
20       映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心がける       表現力を生かして         21       ナレーション③番組ナレーション       ナレーションを収録         22       ジャンルに応じて読み分ける         23       ナレーション④紹介・説明ナレーション         24       台本の理解と表現力を学ぶ       ⑥自分の声を理解し         25       ナレーション⑤案内ナレーション       原稿に対してアプローチの方法を考える         26       聞き手に確実に情報を届けることを意識する	20 映画・番組の魅力が伝わるナレーションを心 21 ナレーション③番組ナレーション 22 ジャンルに応じて読み分ける 23 ナレーション④紹介・説明ナレーション 24 台本の理解と表現力を学ぶ 25 ナレーション⑤案内ナレーション 26 聞き手に確実に情報を届けることを意識 27 ナレーション⑥さまざまなナレーション 28   □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	3		◎ナレーショ	ン原稿を読み	
21       ナレーション③番組ナレーション       ナレーションを収録         22       ジャンルに応じて読み分ける         23       ナレーション④紹介・説明ナレーション         24       台本の理解と表現力を学ぶ       ⑤自分の声を理解し         25       ナレーション⑤案内ナレーション       原稿に対してアプローチの方法を考える         26       聞き手に確実に情報を届けることを意識する	21	ョン		前期に学	んだ発音や	
22       ジャンルに応じて読み分ける         23       ナレーション④紹介・説明ナレーション         24       台本の理解と表現力を学ぶ       ⑤自分の声を理解し         25       ナレーション⑤案内ナレーション       原稿に対してアプローチの方法を考える         26       聞き手に確実に情報を届けることを意識する	22 ジャンルに応じて読み分ける 23 ナレーション④紹介・説明ナレーション 24 台本の理解と表現力を学ぶ 25 ナレーション⑤案内ナレーション 26 聞き手に確実に情報を届けることを意識 27 ナレーション⑥さまざまなナレーション	心がける		表現力を	を生かして	
23	23			ナレーシ	ョンを収録	
24 台本の理解と表現力を学ぶ ◎自分の声を理解し 25 ナレーション⑤案内ナレーション 原稿に対してアプローチの方法を考える 26 聞き手に確実に情報を届けることを意識する	24 台本の理解と表現力を学ぶ 25 ナレーション⑤案内ナレーション 26 聞き手に確実に情報を届けることを意識 27 ナレーション⑥さまざまなナレーション 28    □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □					
25 ナレーション⑤案内ナレーション 原稿に対してアプローチの方法を考える 26 聞き手に確実に情報を届けることを意識する	25 ナレーション⑤案内ナレーション 26 聞き手に確実に情報を届けることを意識 27 ナレーション⑥さまざまなナレーション	 ン				
26 聞き手に確実に情報を届けることを意識する	26 聞き手に確実に情報を届けることを意識 27 ナレーション⑥さまざまなナレーション 28 ↓			◎自分の	声を理解し	
	27 ナレーション⑥さまざまなナレーション 28		原稿に	対してアプロ	コーチの方法を	きえる
27 ナレーション⑥さまざまなナレーション	28	戦する				
<u></u>		ン				
28 ◎沢山の課題を通して、技術やセンスを磨く	29 #		◎沢山 <i>0</i> :	)課題を通し <sup>-</sup>	て、技術やセン	スを磨く
29						
<del>                                     </del>	30 後期未テスト			実技	テスト	

					VA	1-04		
授業科目名	アフレコ実習(1)		担当者名					
JX <del>X</del> ITDTI	アプレコ大目(1)		実務経験	アニメ・外画・ナレーション経験有				
教科書	配布資料(台本等)	単位数 4	学科	学年 学期 科目種			授業方法	
狄代吉	アクセント辞典	時間数 120	声優科	1年	通年	必修	講義·実習	
授業概要		アフレコ実習る	を通して、必要な表					
学習到達目標	表現者として演技力を磨くことを第一に、する。声優として即戦	社会人としての 対になれるよう	常識や対人関係の存 外画アテレコ、アニ	写り方など、業界及 メアフレコ等の実習	び社会で必要と 習を行う。滑舌を	 こされる人材にな をよくする。	さことを目標と	
評価方法		出席率・授業態度	き・期末試験・表現力	]等、総合的に評価	する。			
週数	授業内	容			到達目標・:	学習課題など		
1	自己紹介・自	12PR			して好印象を打	Nに人に伝えるこ 包かせるか。役者 してもらう。		
2	スタジオマナー・県	門用語学習		スタジオ内における必要なマナーやマイクワーク、台れている用語を学ぶ。				
3	アニメアフ	レコ		実際にマイクの 基本的な知識を		クワークやマイク	前での姿勢など	
4	アニメアフ	レコ		マイク前で声を出す。羞恥心を捨てさせる。				
5	アニメアフ	u.¬		台木を詰み内の	マた田留する ダ			
6	)	בעי		日本を認めたが	子で注解する。17	メルクをうんる。		
7	アニメアフ	יין יי		野難蔵 全託を	オスコラで必要	要な距離感を学ぶ		
8	7_2,7			正性が 公司 と	するフルで必要	でみば呼ばるとする	٠٥	
9	外画アフ	レコ		アニメと外画の	国の違いをしっかり認識する。			
10	外画アフ	レコ		外画の映像の身	見方や台本のチ	ェックの仕方を等	さぶ。	
11	外画アフ	La			とは違い完成さ	れた映像に声を	あてる。違いを	
12	ア画/フ			理解する。				
13	- 外画アフ	L T				役者の感情をい	かに理解するこ	
14	71 EL 7			とができるか観	見察力を身につ!	ける。		
15	前期末記	<b>t</b> 験		前期で学んだる 居を確認し反省		双録をする。客観 。	的に自分の芝	
16	アニメアフ	レコ		前期と作品を変 力を高める。	変更することで	新たな世界観を構	構築する。想像	
17	アニメアフ	רעונ				。自分の耳で聞く	声とマイクを通	
18	7_///			して聞く声の遠	いを理解する。			
19								
20	アニメアフ	בעי		録って聞くを練	り返し、自分の	修正点を見つけ	<b>る</b> 。	
21								
22	CDドラ	⊸ <u>−−</u>				中でどれだけ想	 象力を働かせて	
23	CDF	· 		表現ができるた	<b>)学ぶ。</b> 			
24	外画アフ	בע		作品を変更し新 かを学ぶ。	fたに役作り。い	かに掘り下げて	役作りができる	
25	外画アフ	<u></u> -				さらに細かく観察	 る。 ま現に繋げ	
26	/r回/ ノ			ていく。				
27								
28	外画アフ	レコ		録って聞くを練	り返し、自分の	修正点を見つけ	る。	
29								
30	後期末詞	<b>大験</b>		1年で学んだこ を確認し反省点		(録をする。客観的	内に自分の芝居	

4 セルフ「キャ 5 番組進行を 6 トークネタを 7 かんたんプ!	時 ・3人程度のグルー・毎週一人ひとつずつトークネ 出席率(50%)・実技(50%)[① 授業内容 ーション ぎえよう! 5「商品」に「キャッチフレーズ」をつ「	タを提案。楽しく面白い番組を作・ラジオ番組制作・商品(タレント)としての値・メディア露出))テンション②テンポ③安定感		授業方法 講義·実習	
教科書   独自資料   独自資料   授業概要   学習到達目標   評価方法   週数   1   オリエンテ   2   番組名を表   3   自分という   4   セルフ「キャ   5   番組進行を   6   トークネタを   7   かんたんプロ	単	位数 学科 2 間数 声優科 50 声優科 50 声優科 50 である では、	学年 学期 科目種別 1年 通年 必修 1表)で大まかな進行を決める る・収録後、内容を聞き返し反省会。 「値向上  ・ 一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	授業方法 講義·実習	
教科書       授業概要       学習到達目標       評価方法       週数       1     オリエンテー       2     番組名を表       3     自分という       4     セルフ「キャー       5     番組進行を       6     トークネタを       7     かんたんプリー	時 ・3人程度のグルー・毎週一人ひとつずつトークネ 出席率(50%)・実技(50%)[① 授業内容 ーション ぎえよう! 5「商品」に「キャッチフレーズ」をつ「	2	1年 通年 必修  1表)で大まかな進行を決める る・収録後、内容を聞き返し反省会。  (値向上  (④視野(おもいやり、気付き等)⑤楽しさ】  到達目標・学習課題など  お互いの簡単な自己紹介及び、授業の狙い、ルール説明 サウンドロゴ制作 そのネーミングは、考えた人がその後も使って良い。自分いひとは、【番組名】を考えよう。	講義・実習	
授業概要 学習到達目標 評価方法  週数 1 オリエンテ 2 番組名を考 3 自分という 4 セルフ「キャ 5 番組進行を 6 トークネタを 7 かんたんプ!	・3人程度のグルー・毎週一人ひとつずつトークネ 出席率(50%)・実技(50%)【① 授業内容 ーション ぎえよう! 5「商品」に「キャッチフレーズ」をつ!	一	国表)で大まかな進行を決める る ・収録後、内容を聞き返し反省会。  「値向上  ④ 視野(おもいやり、気付き等)⑤楽しさ】  到達目標・学習課題など  お互いの簡単な自己紹介及び、授業の狙い、ルール説明 サウンドロゴ制作 そのネーミングは、考えた人がその後も使って良い。自かいひとは、【番組名】を考えよう。	月。	
学習到達目標       評価方法       週数       1     オリエンテー       2     番組名を考       3     自分という       4     セルフ「キャー       5     番組進行を       6     トークネタを       7     かんたんプリ	・毎週一人ひとつずつトークネ 出席率(50%)・実技(50%)[① 授業内容 ーション ぎえよう! 5「商品」に「キャッチフレーズ」をつい ッチフレーズ」発表	タを提案。楽しく面白い番組を作・ラジオ番組制作・商品(タレント)としての値・メディア露出))テンション②テンポ③安定感	る・・収録後、内容を聞き返し反省会。  「値向上  「④視野(おもいやり、気付き等)⑤楽しさ]  到達目標・学習課題など  お互いの簡単な自己紹介及び、授業の狙い、ルール説明 サウンドロゴ制作 そのネーミングは、考えた人がその後も使って良い。自分のとは、【番組名】を考えよう。		
評価方法	授業内容 ーション ぎえよう! 「商品」に「キャッチフレーズ」をつい ッチフレーズ」発表	・商品(タレント)としての価・メディア露出 ・メディア露出 )テンション②テンポ③安定感	②視野(おもいやり、気付き等)⑤楽しさ】  到達目標・学習課題など  お互いの簡単な自己紹介及び、授業の狙い、ルール説明  サウンドロゴ制作 そのネーミングは、考えた人がその後も使って良い。自分 いひとは、【番組名】を考えよう。		
週数  1 オリエンテー 2 番組名を表 3 自分という 4 セルフ「キャ 5 番組進行を 6 トークネタを 7 かんたんプロ	授業内容 ーション ぎえよう! 「商品」に「キャッチフレーズ」をつい ッチフレーズ」発表		到達目標・学習課題など お互いの簡単な自己紹介及び、授業の狙い、ルール説明 サウンドロゴ制作 そのネーミングは、考えた人がその後も使って良い。自 いひとは、【番組名】を考えよう。		
1 オリエンテ 2 番組名を表 3 自分という 4 セルフ「キャ 5 番組進行を 6 トークネタを 7 かんたんプロ	ーション 考えよう! 「商品」に「キャッチフレーズ」をつい ッチフレーズ」発表	ナてみよう!!	お互いの簡単な自己紹介及び、授業の狙い、ルール説明 サウンドロゴ制作 そのネーミングは、考えた人がその後も使って良い。自 いひとは、【番組名】を考えよう。		
2 番組名を表 3 自分という 4 セルフ「キャ 5 番組進行を 6 トークネタを 7 かんたんプ!	ぎえよう! 「商品」に「キャッチフレーズ」をつい ッチフレーズ」発表	ナてみよう!!	サウンドロゴ制作 そのネーミングは、考えた人がその後も使って良い。自会 いひとは、【番組名】を考えよう。		
3 自分という 4 セルフ「キャ 5 番組進行を 6 トークネタを 7 かんたんプ	- 5 「商品」に「キャッチフレーズ」をつけ ッチフレーズ」発表	ナてみよう!!	そのネーミングは、考えた人がその後も使って良い。自分 いひとは、【番組名】を考えよう。	分の番組持ちた	
4 セルフ「キャ 5 番組進行を 6 トークネタを 7 かんたんプ!	ッチフレーズ」発表	ナてみよう!!			
5 番組進行を 6 トークネタを 7 かんたんプリ		_			
6 トークネタを 7 かんたんプリ	体感しよう		同時催行コーナー内BGM・マイコーナー相談		
7 かんたんプ			A・オープニングトーク〜曲フリ B・曲受け〜エンディン ※今週のMVPを一つプレイバック	ングトーク	
	作ろう。見つけよう。	_	トークネタを、表で一覧出来るようにすると便利	_	
8 「提供力」が	ロフィールシートを作ろう		ゲスト用等に、閲覧用に。いつでも利用できるように趣味 欲しい事・告知等	味・特技・聞いて	
J. J	「ット」に慣れよう		番組上、「提クレ」「曲フリ」「アーティスト名」「地名」等、ゼッタイに読み間違えてはならない箇所がある。緊張感をもって対応したい。		
9 パイロット(	試作)番組作成		5チームあるため、時間の都合上、1番組10分目処で。		
10 常に刷新した	たい「今日のテーマ」		失敗談・スポーツ・地元ネタ・ラーメン・グルメ・時事・旅・ 酒・夢・ゴシップ・その他、幅広い話題に触れていこう。 ※実際に番組で使用したテーマ等も利用	・健康・バイト・お	
11 進行の「テン	ッポ感」を意識しよう	_	テンション、ボリューム、声のトーン、トーク内容の時間尺 理解を深めたい。		
12 番組進行を	体感しよう②		A・オープニングトーク〜曲フリ B・曲のけってングトーク		
13 番組進行を	体感しよう③	_	- B・曲受け〜エンディングトーク ※今週のMVPを一つプレイバック		
14 前期末実技	テスト		タレントとして、どうコメントすれば楽しんでもらえるのだしたい	かを、常に意識	
15 前期末総集	編プレイバック		楽しい、面白い、深イイトーク、コメント等振り返り		
16 前期の反省	 会		テンション、ボリューム、声のトーン、ログセ他 いつも同じような「陥りやすい思考」になっていないか。 ムの時間	 。ブレインストー	
17 「マイコーナ	一」を作ってみよう		この話だったらずっとしていられるという話題 例・「なんでもベスト3」「この1週間、どうしてた?」「お悩	凶み相談」他	
18 番組進行を	体感しよう④		A・オープニングトーク〜曲フリ B・曲受け〜エンディン ※今週のMVPを一つプレイバック	ングトーク	
ار 19 「デジラジ」ا	収録		なとらじ801「デジラジ」実際に出演します。 (15分番組)		
20 「マイ座右の	銘」を作ってみよう		ことわざや格言等を参考に、「オリジナルな格言」を作り ティに奥行きを持たせる狙い	リ、パーソナリ	
21 「デジラジ」ا	収録②	_	なとらじ801「デジラジ」実際に出演します。 (15分番組)		
22 「トークの引	き出し方」を工夫しよう		まずは相手に興味を持ち、どうしたら相手が引き立つか 振りしたら番組が盛り上がるか。リスナーさんたちに喜ん を考える時間	か。どのように深 んでもらえるか	
23 スマホでカ	ラオケスタジオライブ		スマホに入っている音源を使い、スタジオライブしてみる ソナリティであり、アーティストでもある事のアピール	ましょう!パー	
24 スマホでカー	ラオケスタジオライブ②		前回とは違うタイプでライブ。アーティストとしての幅を	テピールしたい	
25 「デジラジ」	以録③		なとらじ801「デジラジ」実際に出演します。 (15分番組)		
26 他の番組も	出てみましょう		講師が懇意にしている番組用にトークコーナー等	等を収録	
27 他の番組も	出てみましょう②		- 調師が想感にしている番組用にトーグコーナーや 採用されれば、そのままオンエアーの予定		
28 「デジラジ」	<b>収録④</b>		なとらじ801「デジラジ」実際に出演します。 (15分番組)		
29 後期末実技	テスト		タレントとして、どうコメントすれば楽しんでもらえるのだしたい	かを、常に意識	
30 「デジラジ」」	収録⑤、後期末総集編プレイバック		なとらじ801「デジラジ」実際に出演します。		

VA1-06

			VAT 00					
授業科目名	MC実習	担当者名	者名 三浦 貴子					
JX**1T口口	いし大日	実務経験	フリー	一 司会歴	38年			
かたイベーキ	プリント配付	単位数 2	学科	学年	学期	科目種別	授業方法	
教科書		時間数 60	声優科	1年	通年	必修	実習	
授業概要	声の出し方から、ステージでの姿勢、表情、 ける。		の使い方、観客層にあ	わせた話し方々	など、幅広く	対応できる技	術を身につ	
学習到達目標	MC(司会者)として即戦力を身につける。「 がることで、MCとしての仕事の楽しさ、緊				:スティバル」	等、実際のス <sup>-</sup>	テージに上	
評価方法	実技試験70% 授業態度(理解力、発表内容	字、受講姿勢、	. 協調性等、総合的に半	<b>川断)30%</b>				
週数	授 業 内	容			到達目標·勻	学習課題など		
1	MCについて 声の出し方の基本			MCの仕事と	こは何か、基本	トを理解する		
2	開場時アナウンス			マイクの扱い	、舞台用語	要を理解する		
3	影アナウンス			正しい発音、	発声、アクセ	ントを身につ	ける	
4	ステージアナウンス			観客前での記	話し方を身に	つける		
5	男女ペアアナウンス 生コマーシャル			原稿を正確に	こ読む力をつ	ける		
6	テレビリポート 中継			原稿なしで追	進行、フリート	一クの力をつ	ける	
7	テレビリポート 中継			表情や姿勢を	まで客観的に	見て改善する	, ,	
8	式典			立場を理解し	)正しい言葉	遣いで進行で	きる	
9	式典			落ち着いて質	堂々と進行で	きる		
10	オープニングセレモニー			華やかな式典の盛り上げ方ができる				
11	オープニングセレモニー			来場者の気持ちをつかむことができる				
12	定禅寺ストリートジャズフェスティバル準備			概要を把握し、基本コメントを覚える				
13	定禅寺ストリートジャズフェスティバル準備			本番をイメー	 -ジした練習 <sup>-</sup>	で不安を解消	する	
14	定禅寺ストリートジャズフェスティバル準備			ヘアメイクも	含めステーシ	ジに立つ自信で で	きもつ	
15	前期まとめ 実技試験			2つのステージを振り返り、実力を確認する				
16	子供向けイベントMC			明るく元気な声を出せる 羞恥心をなくす				
17	子供向けイベントMC			メリハリのあるオーバーな表現を身につける				
18	ホテルイベントアナウンス			品格あるアナ	トウンスにあ <sup>っ</sup>	う声を身につ	ける	
19	ファッションショーアナウンス			大人のお洒落	客なアナウン	スを身につけ	- <u></u>	
20	ゲーム大会司会 じゃんけん・ビンゴ・クイズ			ルールを理解	解し正確に伝	え進行できる		
21	抽選会司会			トラブルのな	いように正確	潅な進行がで	きる	
22	パブリシティ番組進行			正確に暗記る	をして場に合	った表現がで	きる	
23	ラジオ番組リポーター 生中継			言葉で鮮やな	かな描写がで	きるようにな	- る -	
24	ペアでの司会			バランスのと	ー これたスムース	ズな進行がで	きる	
25	様々なクリスマスイベント			タイプの異な	る催事での	進行ができる		
26	グループワーク 番組MC企画			チームとして	協調し作品で	づくりができる	- <u></u>	
27	グループワーク 番組MC準備練習			一年を通して	て学んだ表現	方法を活用で	きる	
28	グループワーク 番組MC本番へ向けリハー	-サル		客観的に楽	しい表現が	できる		
29	グループワーク 番組MC収録試写			自分たちの多	姿を観て改善	できる		
30	実技試験			一年間を振り		こあわせ表現 <sup>・</sup>	できる	

VA1-07
--------

	T			VA1-07				
授業科目名	メディアワーク I		担当者名	吉田 英功  メジャーデビュー(4度改名)、expg他芸能プロ、レコード会社				
	数科争比松克1 4777	単位数	実務経験	のオフィシャルボーカル講師多数			レコート芸任	
教科書	教科書は指定しない	4	学科	学年	学期	科目種別	授業方法	
		時間数 60	声優科	1年	通年	必修	講義·実習	
授業概要	オーディションを一つひとつ、大事に受けてほしする。	いという願いか	ら「感謝の心」「準備のた	大切さ」「自分とい	う商品価値を	高める」に、ます	「はフォーカス	
学習到達目標	主体的に自分で考える習慣を身につけ「自分	分ならこうする	る」という同業者目線	でエンタメを捉	える。			
評価方法	出席率(30%)・実技(30%)・筆記(40%)	1						
週数	授 業 内	容			到達目標・	学習課題など		
1	オリエンテーション			この時間の意図時間の使い方を	<ul><li>タレントとして など共有</li></ul>	ての振る舞い		
2	オーディションシート				真、プロフィール ノていく意識。「幕	・等 専の内弁当よりカ	ツ丼弁当	
3	アーティスト写真 映り方の提案			実際に撮影。ま をまじえて	ずはマインド、表	情や立ち方等、た	ページング提案	
4	オーディション先の企業リサーチ			受験先の企業を 疑応答	を調べる事で、質	の高い質問を心	がける。模擬質	
5	模擬オーディション、模擬質疑応答			前回の反省のも	らと、リピート回			
6	模擬オーディション			繰り返す事で、	洗練させていく			
7	模擬オーディション			採用側のシミュ 付き」の促進	レーション。審査	・値側のマインドに角	虫れる事で「気	
8	緊張対策			本番前、本番中のメンタル等、お互いの経験談をまじえながら 緊張の中、いつも通りのパフォーマンスをするにはどうしたらい いか。考え方の「目線」を提案				
9	コンディショニングのすすめ				まり、本番前の	過ごし方、トレーニ	ニング、ダイエッ	
10	アーティスト写真更新			入学より意識の にどう反映して		面チェック。数ヶ月	でヴィジュアル	
11	業界の掟十訓			芸能・音楽業界	に存在する慣習	等、知っておいた	方が良い事	
12	食事会シミュレーション			スポンサー、クラ 仕事の一つ。立	ライアント、後援: ちふるまい、話	会等、タレントは1 題、心くばりについ	食事会も重要な ハて	
13	税金・年金・保険など、お金のお話①			保証のないエンタメ界だからこそ、知って備えるべき。お金に無頓着ではいられない。				
14	筆記テスト			タレントは、コラム力も試される。紙上で自己表現。				
15	筆記テスト 解答			名解答・珍解答 進したい	を紹介。他者の原	感覚を知ることで	「気付き」を促	
16	アーティスト写真刷新			以前のアーティスト写真、そのままにしていませんか?宣伝材料 も更新していくべき				
17	プロフィールシート刷新			現在迄の実績等、より精査してシンプルに				
18	オーディション先の企業リサーチ			受験先の企業を調べる事で、質の高い質問を心がける				
19	模擬オーディション、模擬質疑応答			前回の反省のも	らと、リピート回			
20	模擬オーディション			繰り返す事で、	洗練させていく			
21	ヴォジョレーヌーボーエア食事会			毎年恒例のイベ	ベント			
22	模擬オーディション				のマインドに触れ 作等、実例を交	れることで「想像: えて。	力」を促したい。	
23	キャッシュフロークワドラント、お金の話②			稼ぐ、貯める、増か	やす、守る、使うな	ど、若いうちから資	産運用のすすめ	
24	ショートプロフィール提案			本番の出番直前、自分は何者なのかを手短に紹介できると、何かと便利				
25	作詞講座			チャンスを自ら	作るためにも、自	自作のモードは重	要。	
26	作詞講座②			学生自作の詞を	を、了承得た上で	公開添削		
27	タレントの経済事情、お金の話③			ギャラの体系、 経済観念も含め	バランス、収入源 かて	原の考え方		
28	無音ショー			リップシンク(ロよう。プロは、ヤ	]パク)。歌わずに かりこんでいる	、表情や動きだ	ナで表現してみ	
29	筆記テスト			タレントは、コラ	5ム力も試される	る。紙上で自己表現	見。	
30	筆記テスト 解答			名解答・珍解答 進したい	を紹介。他者の原	感覚を知ることで	「気付き」を促	

					1/4:	1.00						
	<del></del>			VA1-08								
授業科目名	科目名 オーディション対策(1) -					担当者名 	櫻井 潤					
	・配布資料(プリント)	学科	学年	学期	科目種別	授業方法						
教科書		4 時間数 120	声優科	1年	通年	必修	講義·実習					
授業概要	1. オーディションの内容を理解する。 2. セルフプロデュースについて理解する。 3. 各種プロダクションのオーディション(職		P教奈の一帯)を実施	<u></u>			I					
学習到達目標	1. 声優、タレント、俳優の仕事について理解 2. 発表を通してプレゼンテーション能力を 3. 自己プロフィールの制作。 4. オーディションを通じて声優アーティスト	し、エンタテイン 高める。	ソメント業界の仕組る									
評価方法	実技試験及び課題提出、出席率等を加味し	総合評価とする										
週数	授業内	容			到達目標·	学習課題など						
1	オーディションについて 養成所、声優プロダクションの説明			養成所、プロ	ダクションに	ついて理解す	-8					
2	<i>II</i>			養成所、プロ	ダクションに	ついて理解す	-8					
3	オーディション対策 基礎(1) 自己PR編			自己PR(1分	分以内)をまと	:める						
4	II .			自己PR(1分	)以内)をまと	:める						
5	オーディション対策 基礎(2) 写真の撮られ方(自分に合ったファッション	を理解する)		写真撮影を違	通してポーズ	のとり方を理	解する					
6	11			写真撮影を記	通してポーズ	のとり方を理	解する					
7	オーディション対策 基礎(3) 声優業界を知る			声優アーティストとしての仕事を理解する。								
8	11			声優アーティストとしての仕事を理解する。								
9	オーディション対策 基礎(4) プロフィールシートの書き方			プロフィールシートの下書きを作成する								
10	11			プロフィール	シートを作品	はする						
11	オーディション対策 応用(1) 朗読、ナレーション、自己PR			オーディション対策練習								
12	II .			オーディション対策練習								
13	オーディション対策 応用(2) 自己PR、歌唱、セリフ			オーディション対策練習								
14	II .			オーディション対策練習								
15	前期末試験			自己PR、歌唱、セリフ								
16	オーディション対策 復習 自己PR、歌唱、セリフ			オーディション対策練習								
17	II .			オーディション対策練習								
18	オーディション対策 総合 自己PR、歌唱、セリフ			ビデオ撮影し、個々に修正と反省								
19	II .			ビデオ撮影し、個々に修正と反省								
20	オーディション実践(1) ・職業実践専門課程における一環教育として	て各種オーディ	ションを実施	プロダクション担当者よりアドバイスを頂き声優アーティストと て必要な表現力をつける。								
21	オーディション実施(2) ・職業実践専門課程における一環教育として	て各種オーディ	ションを実施	プロダクション担当者よりアドバイスを頂き声優アーティスト て必要な表現力をつける。								
22	オーディション実施(3) ・職業実践専門課程における一環教育として	て各種オーディ	ションを実施	プロダクション! て必要な表現力		(イスを頂き声優)	アーティストとし					
23	オーディション実施(4) ・職業実践専門課程における一環教育として	て各種オーディ	ションを実施	プロダクション担当者よりアドバイスを頂き声優アーティストと て必要な表現力をつける。								
24	オーディション実施(5) ・職業実践専門課程における一環教育として	て各種オーディ	ションを実施	プロダクション担当者よりアドバイスを頂き声優アーティストと て必要な表現力をつける。								
25	オーディション実施(6) ・職業実践専門課程における一環教育として各種オーディションを実施			プロダクション担当者よりアドバイスを頂き声優アーティストと で必要な表現力をつける。								
26	オーディション実施(7) ・職業実践専門課程における一環教育として	て各種オーディ	ションを実施	プロダクションオ て必要な表現力		(イスを頂き声優)	アーティストとし					
27	オーディション実施(8) ・職業実践専門課程における一環教育として	て各種オーディ	ションを実施	プロダクションオ て必要な表現力		(イスを頂き声優)	アーティストとし					
28	オーディション実施(9) ・職業実践専門課程における一環教育として	て各種オーディ	ションを実施	プロダクションオ て必要な表現力		(イスを頂き声優)	アーティストとし					
29	オーディション実施(10) ・職業実践専門課程における一環教育として	て各種オーディ	ションを実施	プロダクションオ て必要な表現力		(イスを頂き声優)	アーティストとし					
30	後期末試験			自己PR、歌	唱、セリフ							
							· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					

VA1-09
--------

			VA1-09					
授業科目名	自己表現技法(1)	担当者名	渡辺 美登利					
***************************************		33/ / 1 30/	実務経験	Ē	<b></b>			
教科書	・配布資料(プリント)	単位数 4	学科	学年	学期	科目種別	授業方法	
<b>3</b> 2/17 <b>E</b>		時間数 120	声優科	1年	通年	必修	実習	
授業概要	表現	者に必要とな	る基礎的な知識、体力	、表現力の向」	Ł			
学習到達目標			ングによる基礎体力の 上での感情表現の習得					
評価方法		出席	率、課題提出、期末試調	<b>ф</b>				
週数	授 業 内	容			到達目標・特	学習課題など		
1	オリエンテーション(概要説明、演技入	門)ストレッチ	テ、シアターゲーム			。ストレッチの ムによる信頼!		
2	ストレッチ、シアターゲーム	、台本演技「如	<b>i妹」</b> ①	初めての台	合本演技を通	して演技の楽	しさを知る	
3	ストレッチ、シアターゲーム	、台本演技「如		初めての		kjのまとめ こよる個々の§	引点認識	
4	ストレッチ、シアターゲーム	、台本演技「乙	)t]()			感情表現を知 想像力の活性		
5	ストレッチ、シアターゲーム	、台本演技「て	た」②	実際		じてみる、まる )方法を知る	とめ	
6	ストレッチ、シアターゲーム	、台本演技「親	表」①	感 言	情表現の大切 役定を考える。	]さについて知 、想像力の向.	iiる 上	
7	ストレッチ、シアターゲーム	、台本演技「親	表」②			が盾について知 よってやって <i>み</i>		
8	ストレッチ、シアターゲーム、台本	演技「スクー	ルライフ」①	感情と役について考える 役と設定を理解、練習する				
9	ストレッチ、シアターゲーム、台本	演技「スクー	ルライフ」②			て演じてみる、 時進行を練習		
10	ストレッチ、シアターゲーム、台	本演技「きょ	うだい」①	感		}化(怒りと憤 との理解	(y)	
11	ストレッチ、シアターゲーム、台	本演技「きょ	うだい』②			て演じてみる、 更に理解を深		
12	ストレッチ、シアターゲ	ーム、エチュー	-Ľ	即興劇に挑戦してみる 瞬発力を養う				
13	ストレッチ、シアターゲーム、	期末試験課題	の配布	期末試験概要説明、準備をする				
14	ストレッチ、シアターゲー	ム、前期期末	試験					
15	ストレッチ、シアターゲーム	、台本演技「如	妹」③	春から	エエバ こ	長を自身で研 19ンの向上	飲める	
16	ストレッチ、シアターゲー	ム、台本演技	「怒」	長期休暇で鈍くなった感覚を取り戻す				
17	ストレッチ、シアターゲー	ム、台本演技	「哀」	感情表現の再確認 役の心について学ぶ				
18	ストレッチ、シアターゲーム、	進級公演の台	3本配布	進級公演(朗読)の台本読み合わせ 題材担当オーディションの概要説明				
19	ストレッチ、担当決定	オーディション	,			での成長度の ション形式で?		
20	ストレッチ、オーディション結界		あ合わせ ー			者の発表 み合わせ		
21								
22	ストレッチ、シアク					た本格的な打 しという意識		
23	進級公演練習	l、準備				る基礎の向」		
24								
25					一	ンで練習、指導		
26	ストレッチ、シアダ	ターゲーム			本番に向けた	ノで探音、指令 :構成を考える 準備、作成		
27	進級公演練習、				→ 一連を通	して学生間の る構築を目打		
28				1高	根対が少史は	で用来で日か	H 9	
29	ストレッチ、後期	期末試験		進級	公演の題材で	で実技テストを	E行う	
30	ストレッチ、進級公演総	仕上げ、当日空	<b>革備</b>		一年学んだこ	ことを振り返る	5	

VA1-10
--------

	I		VAI-10					
授業科目名	オーディオドラマ制作		担当者名			② 美登利		
		単位数	実務経験	声優、ステージ活動総			<u></u> 	
教科書	配布資料(プリント)	4	学科	学年	学期	科目種別	授業方法	
3		時間数 60	声優科	1年	通年	必修	実習	
授業概要	オーディオ形式のト	―― ドラマ作成を)	通して演技力や表現力(	の向上、収録	ーー 時のコツを学ん	<i>"</i>		
学習到達目標		オ·	ーディオドラマの作成					
評価方法		出席	率、授業態度、期末試験	È				
週数	授 業 内	容			到達目標·	学習課題など		
1	オリエンテーション・発	声練習につい	iT		授業内容につ	ついて理解する	5	
2	外郎売りについて、台本	下配布、設定構	<b>請想</b>		設定構想の	大切さを学ぶ		
3								
4				初めて	このオーディオ	ドラマに触れ	てみる	
5	シナリオ「おあやや、おる 読み合わせ、 テスト、収録	練習	',1	役とし	してのセリフの	の掛け合いにも	貫れる	
6	- プスト、4人政		収録時の緊張感や難しさを知り、 各々練習、実践する					
7								
8	完成品視聴、台本配	布、設定構想		完成品	を聴き、達成原	感と今後の課	題を得る	
9								
10	シナリオ「ピンク			更に難しい台本に触れ、表現力の幅を広げる				
11	- 読み合わせ、 テスト、収録				更なるスキル	戦しながら練習 アップを目指 <sup>・</sup> −作りを学ぶ		
12					11777	11727-01		
13	収録予備日、前期期	末試験発表						
14	前期期末記	式験						
15	完成品視聴、テスト	のアドバイス		前期の総まとめ、今後の課題を再度確認する				
16	前期の振り返り、感覚を取	り戻すトレー	ニング	短編ドラマを演じることで感覚を取り戻す				
17				役を変えて何パターンか収録する キャラクターの切り替を学ぶ				
18	シナリオ「プロ 読み合わせ、 ニュ lype	練習						
19	. テスト、収録	(个世		î	各々表現の引	き出しを増や	<del>र्</del> ग	
20	完成品視聴、台本配	布、設定構想		完成品	を聴き、達成原	感と今後の課	題を得る	
21				佐白山	⊢₼⁄ル⊬ぃ≁-	ブラッシュアッ	<b>ープオ</b> ス	
22	シナリオ「d 読み合わせ、 ニュト Inda	練習		違和感	のない自然な	え現力を身に	付ける	
23	. テスト、収録	(4)世				出来るように		
24	完成品視聴、台本配	布、設定構想		完成品	を聴き、達成原	感と今後の課	題を得る	
25				75 -	+	A	+7	
26	シナリオ「カレー 読み合わせ、	練習				ターンか収録 <sup>・</sup> の切り替を学ん		
27	. テスト、収録	4个番				人、集中力を養		
28	収録予備日、後期期	用末試験発表						
29	後期期末記	式験						
30	テストのアドバイス	く、総まとめ		_	-年間で学んた	ごことを振り返	<u></u> る	

VA1-11

				VAI-11				
授業科目名	ボーカル実習	担当者名	メジャーデビュー	英功 xpg他芸能プロ、	レコード会社			
	<b>独</b> 白资料	実務経験	のオフィシャル					
教科書	独自資料	単位数 4 時間数	学科 ————	学年	学期	科目種別	授業方法	
		120	声優科	1年	通年	必修	講義·実習	
授業概要		室学はボーカ!	トレッチ(心身のウォー リストとして必要な知詞 心にボーカル技量向_	哉を共有する	トたレッスン			
学習到達目標		オーディシ	ノョン通過、メジャーデ	゚゚゙ビュー				
評価方法	出席率(50%)·実技(50%)	(①ピッチ(音	   程)②リズム③発声④	表現力⑤ビジ	ュアル(雰囲気	i·所作等)】		
週数	授 業 内	容			到達目標·学	学習課題など		
1	学校は社会(業界)に出るための、練習の場	である		本格的なレッス	ンに入る前に、排 いての約束事。	挨拶、礼儀、ルール	J、スタジオや道	
2	習慣にすると良い事。準備の必要性及び、発 腹式呼吸の基本とは	き声、ブレス、				れない。声を出す 『等の基本につい		
3	オーディション対策			オーディションと会社に興味を持		<b>に職面接と心得る</b>	。まずは受ける	
4	サムライに刀、板前に包丁、歌手にマイク			マイクの特性を	理解し、歌い手の 方を紹介。	D魅力をより引き	出すため、マイ	
5	個別レッスン			それぞれの方向を目指す。	 ]性、個性、クセ等	宇を客観的に分析	。魅力度アップ	
6	オーディション対策			自己PRの重要	性、緊張感にどう	う対応していくか	にも触れる。	
7	課題曲レッスン			オーディションラ男女別に解説。	 でよく使用される	る曲を元に、細部に	こわたる解釈を	
8	ロスの少ない声、息とは			やみくもな全力 であろう。ムダ(	投球は、いつかえ	過度な疲労・故障 こついて理解する。	·影響を及ぼす 。	
9	個別レッスン		_ <del></del>					
10	母音の属性			日本の歌を歌う特性と法則性、		っかり理解する必	要がある。その	
11	課題曲レッスン							
12	デビュー前、デビュー後の生活あれこれ			歌手はタレントであり、タレントは自由業である。個人事業主で あることを覚悟する。保険、税金、必要経費等、知って得する情 報。				
13	個別レッスン							
14	模擬オーディション			前期でどれほど成長しているか、オーディションを想定して表現 する時間。				
15	模擬ライブ			「ショー」を一人でどのぐらい成立させられるのか、試される時間。				
16	前期の復習、確認		<u>_</u>	前期でやってきたことが錆びついていないかの確認。				
17	作詞講座			ヒット曲には、ある法則性がある?過去のヒット曲も交えて、詞の書き方を提案。				
18	個別レッスン							
19	セールスポイントは何だ!				「か一つ突出する な事にも目を向	武器、売りが欲し けよう。	い。既存の歌	
20	課題曲レッスン							
21	知らないと損する業界十訓				た方が良い事等	マとの関わり方、 、講師自身の経験		
22	個別レッスン		<u>-</u>					
23	レコードコピーは上達の王道			歌い手は誰しも で細部にコピー る。	、お手本にしてし する事で、自分( 	ハる歌手がいるも の個性など見えて	らの。息遣いま 「くるものがあ	
24	課題曲レッスン							
25	お金の話			印税、給料、ファ 単価他、講師の	・ンクラブ、グッ <i>ラ</i> 失敗談を交えな	ズ収入、レギュラー がら。	-番組、ギャラ	
26	個別レッスン							
27	基本だけにこだわらない				🕽、方法論を持っ	ロで生き抜くアー ている。自分なり		
28	個別レッスン							
29	模擬オーディション			後期でどれほと する時間。	が長しているか	、オーディション	を想定して表現	
30	模擬ライブ			「ショー」を一人間。	でどのぐらい成	立させられるのだ	か、試される時	

					VA1-12					
		担当者名	櫻井 潤							
授業科目名	エンタテインメントガイド(1	実務経験	13.71 (13)							
	・配布資料(プリント)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法			
教科書		時間数	声優アーティスト科	1年	通年	選択	講義·実習			
	個々の能力の応じて下記内容の授業を実施	60 する。			<u> </u>		<u>.l</u>			
授業概要	1. エンタテインメントについて理解する。 2.音楽理論(基礎編)について理解する。 3.ミュージックジャンルについて理解する。									
学習到達目標	1. エンタテインメント業界の仕組みを知る。 2. 声優アーティストして必要な表現力を身 3. 自己プロデュース能力を高める。	こつける。								
評価方法	実技試験及び課題提出、出席率等を加味し	総合評価とす	る。							
週数	授 業 内	容			到達目標・	学習課題など				
1	エンタテインメント業界の基礎知識(1)			エンタテインる。	メント業界の	)仕組みにつし	て理解す			
2	エンタテインメント業界の基礎知識(2)				仕組みについ	\て理解する。				
3	エンタテインメント業界の基礎知識(3)			音楽業界の	仕組みについ	\て理解する。				
4	エンタテインメント業界の基礎知識(4)			エンタテイン ついいて理		おいて求めら	れる人材に			
5	音楽理論(基礎編)(1)				かって理解す	る。				
6	音楽理論(基礎編)(1)			ダイアトニッ	クコードにつ	いて理解する	90			
7	音楽理論(基礎編)(2)			楽曲構成に	ついて理解す	る。				
8	音楽理論(基礎編)(3)			作曲方法(基礎)について理解する。						
9	音楽理論(基礎編)(4)			作詞方法(基礎)について理解する。						
10	音楽理論(基礎編)(5)			DTM(基礎	)について理!	<b>解する。</b>				
11	音楽ジャンルについて(1)			各種音楽ジャンルの特徴について理解する。						
12	音楽ジャンルについて(2)			各種音楽ジ	ャンルの特徴	について理解	する。			
13	音楽ジャンルについて(3)			各種音楽ジ	ャンルの特徴	について理解	 する。			
14	音楽ジャンルについて(4)			各種音楽ジ	ャンルの特徴	について理解	 する。			
15	前期末試験									
16	  エンターテインメントについて(1)  ・企業連携における教育プロクラムとしてプ  頂く	ロダクション	関係者よりアドバイスを	プロダクションして必要な表現	担当者よりアド。 見力をつける。	バイスを頂き声優	『アーティストと			
17	エンターテインメントについて(2) ・企業連携における教育プロクラムとしてプ 頂く	ロダクション	関係者よりアドバイスを	プロダクション担当者よりアドバイスを頂き声優アーティストとして必要な表現力をつける。						
18	エンターテインメントについて(3) ・企業連携における教育プロクラムとしてプ 頂く	ロダクション	関係者よりアドバイスを	プロダクション担当者よりアドバイスを頂き声優アーティストとして必要な表現力をつける。						
19	エンターテインメントについて(4) ・企業連携における教育プロクラムとしてプ 頂く	ロダクション	関係者よりアドバイスを	プロダクション担当者よりアドバイスを頂き声優アーティストと して必要な表現力をつける。						
20	エンターテインメントについて(5) ・企業連携における教育プロクラムとしてプ 頂く	ロダクション	関係者よりアドバイスを	プロダクション して必要な表現	担当者よりアド。 見力をつける。	バイスを頂き声優	<b>!</b> アーティストと			
21	エンターテインメントについて(6) ・企業連携における教育プロクラムとしてプ 頂く	ロダクション	関係者よりアドバイスを	プロダクション して必要な表現	担当者よりアド。 見力をつける。	バイスを頂き声優	アーティストと			
22	エンターテインメントについて(7) ・企業連携における教育プロクラムとしてプ  頂く	ロダクション	関係者よりアドバイスを	プロダクション して必要な表現	担当者よりアド. 見力をつける。	バイスを頂き声優	<b>∮アーティストと</b>			
23	エンターテインメントについて(8) ・企業連携における教育プロクラムとしてプ 頂く	ロダクション	関係者よりアドバイスを	プロダクション して必要な表現	担当者よりアド。 見力をつける。	バイスを頂き声優	『アーティストと			
24	エンターテインメントについて(9) ・企業連携における教育プロクラムとしてプ 頂く	ロダクション	関係者よりアドバイスを	プロダクション担当者よりアドバイスを頂き声優アーティスト して必要な表現力をつける。						
25	エンターテインメントについて(10) ・企業連携における教育プロクラムとしてプ 頂く	ロダクション	関係者よりアドバイスを	プロダクション して必要な表現	担当者よりアド。 見力をつける。	バイスを頂き声優				
26	エンターテインメントについて(11) ・企業連携における教育プロクラムとしてプ 頂く	ロダクション	関係者よりアドバイスを	プロダクション して必要な表現	担当者よりアド。見力をつける。	バイスを頂き声優	- {アーティストと			
27	エンターテインメントについて(12) ・企業連携における教育プロクラムとしてプ 頂く	ロダクション	関係者よりアドバイスを	プロダクション して必要な表現	担当者よりアド。 見力をつける。	バイスを頂き声優	₹アーティストと			
28	エンターテインメントについて(13) ・企業連携における教育プロクラムとしてプ 頂く	ロダクション	関係者よりアドバイスを	プロダクション して必要な表現		バイスを頂き声優	<b>{</b> アーティストと			
29	エンターテインメントについて(14) ・企業連携における教育プロクラムとしてプ 頂く	ロダクション	関係者よりアドバイスを	プロダクション して必要な表現	担当者よりアド。 見力をつける。	バイスを頂き声優	『アーティストと			
30	後期末試験									

VA2-14	
--------	--

		VAZ-14						
授業科目名	アフレコ実習(2)	担当者名	原田晃					
20011HH	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	実務経験		アニメ・外画・ナレーション経験有				
教科書	配布資料(台本等)	単位数 4	学科	学年	学期	科目種別	授業方法	
纵付音	アクセント辞典	時間数 120	声優アーティスト科	2年	通年	必修	講義·実習	
授業概要	アニメ、外画等のアフレコ実習		・ や技術力を学ぶ。1年生	で学んだことを	踏まえ、より実	践的な授業を行	÷.	
学習到達目標	表現者として演技力を磨くことを第一に、 とする。声優として即戦力になれ	社会人として るよう外画ア	の常識や対人関係の有 テレコ、アニメアフレコ	り方など、業界が 等の実習を行う	及び社会で必要。 。表現力を身に	とされる人材につけ、滑舌をよく	なることを目標 する。	
評価方法	H	出席率・授業態	ミ度・期末試験・表現力等	、総合的に評価	する。			
週数	授 業 内	容			到達目標・	学習課題など		
1	アニメアフ	レコ		基本に立ち返り		本の持ち方やマイ?	フポジション、マイ	
2	アニメアフ	レコ				事ができるか。映作 へのアプローチの(		
3				アニメーション	ノというのは非日	日常的なことを演	じる事が多い。	
4	- アニメアフ 	レコ		創造力をいか   		題材の世界観をる。	想像、創造させ	
5				サびサナチャン	A=₹±₹.		· + ===================================	
6	アニメアフ	レコ		基礎を重視し、会話をするという基本的なことを意識的に つ無意識のように聞こえる演技力を身につけられるように終 り返し練習をする。感情解放をしっかりできるようにする。消				
7					セントに注意する			
8	外画アフレ	ノコ		アニメと外画の違いを再認識させる。				
9								
10	1							
11				れる耳からの	情報、画面から	ドセットを着用し 得られる目からの する。学んできた	の情報をいかに	
12	- 外画アフl	ノコ		何度も繰り返し	」練習をする。酉 意味が存在する	画面の中の俳優の らことを理解する。	)表情や息遣い、	
13	1				アクセント	·に注意する。		
14	1							
15	前期末試			会話をする、愿	4. 4.	 ったことをどれだ ♪確認する。	け出来るように	
16	アニメアフ	レコ		前期の授業を踏まえて進めていく。作品を変えてまた一から 役を掘り下げる作業を学んでいく。				
17				<u>'</u>			•	
18								
19				より実践を意	識し、キャラクタ でキュス星草の	7ーを演じること! )演技をするため!	こ責任を持たせ	
20	- アニメアフ	レコ		を生徒自身に	考えさせ、常に	演技をするために 頭を使った演技が アクセントに注意	ができるように	
21	1							
22								
23	外画アフし			もう一度映像		でるところから細だ く。	かく指導してい	
24				\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \			:編い5才 ウハ	
25	・ 外画アフレ	ノコ		一八 <b>一</b> 人に細		録音しては聞くを こどを明確にする		
26								
27				現場で起こり	うる駄目だしや	キャラ設定の変態	更などを生徒に	
28	外画アフし	ノコ		あたえ、いかに	こ柔軟に対応で	きるかを練習する 鼻濁音、アクセン	。声優にとって	
29								
30	後期末試	験				じ形でアテレコを行 身についたか確認す		

VA2-15 石垣進之介 担当者名 授業科目名 ラジオ番組制作(2) テレビ、ラジオ番組出演経験あり 実務経験 単位数 独自資料 学年 学期 科目種別 授業方法 教科書 時間数 声優アーティスト科 2年 講義·実習 通年 必修 60 コミュニティFMで放送するラジオ番組を制作。生徒がローテーションで出演する。その他、雑学、トーク技術の向上を図るエチュードなどを行っていく。 授業概要 学習到達目標 1人1人の「人間力」を高め、喋りの技術を向上させ、コミュニケーション能力も高める。 授業態度、出席日数、期末試験 評価方法 授業内容 到達目標・学習課題など 週数 番組作成、収録、マーケティング作業を繰り返していきます グループトーク、個人トークの技術向上 1  $\downarrow$ 2  $\downarrow$ 3 4  $\downarrow$  $\downarrow$ 5  $\downarrow$ 6 7  $\downarrow$  $\downarrow$ 8  $\downarrow$ 9  $\downarrow$ 10  $\downarrow$ 11  $\downarrow$ 12 13  $\downarrow$  $\downarrow$ 14 前期期末試験 15 オリジナル番組制作 放送はしないが、自由に番組を作成していく 16 17  $\downarrow$ 18  $\downarrow$  $\downarrow$ 19 20  $\downarrow$  $\downarrow$ 21  $\downarrow$ 22  $\downarrow$ 23  $\downarrow$ 24  $\downarrow$ 25  $\downarrow$ 26  $\downarrow$ 27  $\downarrow$ 28  $\downarrow$ 29 後期期末試験 30

,	VA2-16	
---	--------	--

	I		T	VAZ-16				
授業科目名	ナレーション実習		担当者名			<b>亜矢子</b>		
		単位数	実務経験		ナレーターと T	として活動¤ T	† 	
教科書	資料配布(プリント)	4	学科	学年	学期	科目種別	授業方法	
		時間数 120	- 声優アーティスト科	2年	通年	必修	実習	
授業概要	実践に近い形で様々なナレーションに挑戦	し経験を積む						
学習到達目標	即戦力として活躍できることを目標に、表現	現や技術力を	身につける					
評価方法	授業態度や出席率、試験を行うことで総合	的に評価						
週数	授 業 内	容			到達目標·勻	学習課題など		
1	オリエンテー	ション		授業内容	容・発声練習に	こついての説	明を実施	
2	ナレーションの和	重類の説明		種類を理解し	し、状況に応し	じた表現につい	ハて理解する	
3				商品	にあったナレ・	ーションを意	哉する	
4	①CMナレー	ション			漢字の読み	書き①(提出)		
5				映画・番	<b>軽組の魅力が</b>	伝わるNAをi	<b></b> ふがける	
6	②映画・予告ナリ	ノーション			漢字の読み	書き②(提出)		
7	@### I			ジャンルに	に応じて読みな	分けることを	大切にする	
8	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	-ション		漢字の読み書き③(提出)				
9				,	台本の理解と	:表現力を養う	5	
10	④紹介・説明ナレーション		漢字の読み書き④(提出)					
11	<b>***</b>			聞き手に	確実に情報を	を届けることを	意識する	
12	- ⑤案内ナレー   	-ション			漢字の読み	書き⑤(提出)		
13	ボイスサンプル	について		制	作意図や作業	能についての記	说明	
14	前期末テス	(h)		筆記テスト				
15	前期未テス	K-2			実技	テスト		
16	※前期同様に様々なナレー	ション課題に	挑戦する					
17	1				※ただ読む	だけでなく、		
18	1			— 独りよがりにならないよう				
19	1			1	「伝える力」	を身につける		
20	1							
21					◎自分の	声を分析し		
22	・ ボイスサンプル原	稿作成開始		自	分を生かせる	ら原稿を作成す	する	
23					レポー	トの提出		
24				(	自分の作った	た原稿を使用	U	
25	ボイスサンプル	収録開始			実際に	収録する		
26								
27					沢山の課題	夏に取り組み		
28	⑥さまざまなナ	レーション		技術		長現のセンスを	を磨く おおお	
29						書きを継続(		
30	<u> </u>	スト			実技	テスト		

					VA2	2-17		
			担当者名			江理子		
授業科目名	ダンスレッスン 		実務経験	ダンスインストラクター、コレオグラフ: サー、スポーツインストラクター6				
	教科書なし	単位数 2	学科	学年	学期	科目種別	授業方法	
教科書		時間数 60	声優アーティスト科	2年	通年	必修	実習	
授業概要	ストレッチや柔軟等の基礎トレーニングとア	イソレーション 音楽に合わt	ノ やダウンアップのリズ さて踊れる楽しさを実感	ムトレーニング してもらう。	を行い、様々な	な身体の動かし	方を習得し、	
学習到達目標	身体の柔軟性や筋力の向上、音楽に合わり テップ等を組み合わせた						よってはス	
評価方法		出席率、授美	業態度、実技、実技試験	の総合評価				
週数	授 業 内	容			到達目標・	学習課題など		
1	ウォーミングアップ			現段階の自身	予の体力を測る	る体力テストを	行う	
2	ウォーミングアップ			ダンス用語、「	簡単なリズム耳	収りの習得		
3	アイソレーション			首、肩、胸、腰	、箇所ずつ動	かせるようにな	61	
4	アイソレーション			前回の応用含	含め、早いリズ.	ムでも行う		
5	ダウン			基礎の動き、	ダウンを理解	する		
6	ダウン			前回の応用、	手や足の要素	を加える		
7	アップ			基礎の動き、	アップを理解	する		
8	アップ			前回の応用、	手や足の要素	を加える		
9	ダウン&アップ			ダウンとアッ	プの切替方、耳	図り方の違いを	覚える	
10	ステップ			簡単な足のス	ステップ等、名詞	前を覚えて実際	際に動いてみ	
11	ステップ			前回よりも足	先を細かく使	うステップを覚	覚える	
12	ステップ			ジャンプやキ	ック等も含めた	たステップを覚	える	
13	基礎振付			今まで習得し	てきた基礎の	組み合わせで	踊る	
14	基礎振付			前回の復習、学生自身で振付を作ってみる				
15	前期まとめ			基礎振付の成	成果発表(実技	試験)		
16	前期復習			前期で行った	基礎の復習			
17	ヒップホップダンス			基礎を活かし	「ヒップホッフ	『ダンス」の動き	方を覚える	
18	ヒップホップダンス			前回の復習、	新しい振付の	習得		
19	ヒップホップダンス			前回の復習、 る	チームに分か	れて学生自身で	でも振付を作	
20	ヒップホップダンス			3週に渡り練 表	習してきたヒュ	ップホップダン	スの成果発	
21	スタイルダンス			より現代的な	、「スタイルダン	ノス」の動き方を	党える	
22	スタイルダンス			前回の復習、	新しい振付の	習得		
23	スタイルダンス			前回の復習、 る	チームに分か	れて学生自身で	でも振付を作	
24	スタイルダンス			3週に渡り練	習してきたスク	タイルダンスの	成果発表	
25	ハウスダンス			ステップを主	とする「ハウス	スダンス」の動き	方を覚える	
26	ハウスダンス			前回の復習、	チームに分かっ	れて学生自身で	でも振付を作	
27	ハウスダンス			2週に渡り練	習してきたハロ	ウスダンスの成	<b>津発表</b>	
28	応用振付			基礎から応用	までを組み合	わせた振付の	習得	
29	応用振付			前回の復習、 る	チームに分か	れて学生自身で	でも振付を作	
30	後期まとめ			応用振付の成	成果発表(実技	試験)		

VA2-18

					V / \	2-18	
授業科目名	取材実習		担当者名		****	貴子	
	プリント資料配付	単位数	実務経験			ナウンサー	,
教科書	フリント員科能的   NHK日本語発音アクセント新辞典	2 時間数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
	-	60	声優アーティスト科	2年	通年	必修	実習
授業概要	パーソナリティとしてではなく、取材対象を ト取り、テーマに沿ったインタビュー、アンケ			とめる。取材( 	の種類、基礎	をおさえ、ア <i>ī</i> 	ポイントメン 
学習到達目標	世の中が求めているテーマを見つけ、深く打ニケーション能力、責任感を身につける。	屈り下げる発	 想力、放送倫理、さらに	、アポイントメ	ントを取る面	から、社会常	識やコミュ
評価方法	課題作品70% 授業態度(発想力、行動力	、受講姿勢、協	協調性等、総合的に判断	)30%			
週数	授 業 内	容			到達目標・特	学習課題など	
1	番組制作の基本			情報収集、取	対方法の基	本を理解する	
2	情報収集・インターネット篇			必要な情報を	を早く正確に	収集できる	
3	情報収集·書籍篇			図書館が利用	用できる 深	く資料を読み	とく
4	資料のまとめかた			情報の取捨る	選択ができる	<u> </u>	
5	番組収録			自分のことに	ずで集めた資	料を番組にま	とめる
6	試聴			全員で試聴	反省点 改善	喜点をみつけ.	<u> </u>
7	情報集酒・アンケート篇			情報収集手段	<del></del> 段としてアン・	ケートについ	て学ぶ
8	アンケート実施			テーマに沿っ	ったアンケート	-実施する	
9	番組収録			アンケート結	果をもとに	番組を作る	
10	試聴			全員で試聴	反省点 改善	<b>善点をみつけ</b>	<b>3</b>
11	インタビューについて			挨拶から本題	題への導き街	の声を集める	5
12	街頭インタビュー実施			街の声を集めて、実のある素材を作る			
13	番組収録			前回の素材を	を番組として	仕上げる	
14	試聴			全員で試聴	反省点 改善	<b>善点をみつけ</b>	3
15	インタビュー練習			1対1でのイン	ンタビューの	マナーやコツ	を掴む
16	アポイントメントの取り方			電話、取材依	対頼書等のマ	ナーを理解す	る
17	テーマ選考 アポ取り			テーマに沿っ	った対象者に	依頼できる	
18	情報収集・インタビュー対象者篇			必要な情報な	や素材を集め	ることができ	る
19	素材編集			インタビュー	素材の正しい	い取捨選択が	できる
20	試聴			全員で試聴	反省点 改善	<b>善点をみつけ</b>	3
21	グループ作品・テーマ選考 構成 企画立案	!		チームで協訓	間し企画をた	てる	
22	グループ作品・資料収集 情報収集			対象者を理解	解し興味深い	情報を集める	5
23	グループ作品・取材			対象者を理解	解し魅力を引	き出す	
24	グループ作品・素材編集			取材して集め	かた素材の取	捨選択ができ	· る
25	グループ作品・スタジオ収録			集めた素材を	を自身の話術	jでまとめる	
26	グループ作品・試聴			全員で試聴	反省点 改善	<b>善点をみつけ</b>	გ
27	個人作品·企画立案			世の中が求る	める情報を見	しつけられる	
28	個人作品·取材			対象者が魅	力的に映る	取材を行う	
29	個人作品·収録			個性の表れる	る作品を完成	させる	
30	個人作品·試聴			全員で試聴	反省点 改善	<b>善点をみつけ</b>	 る

VA2-19

				VAZ-19				
授業科目名	卒業制作		担当者名			田晃	\	
		単位数	実務経験		l	ナレーション経験		
教科書	配布資料(台本等)	2	学科	学年	学期	科目種別	授業方法	
	アクセント辞典	時間数 60	声優アーティスト科	2年	通年	必修	講義·実習	
授業概要	ボイスドラマのイ	作製。制作過程	星を通してコミュニケー	ション力や想像	象力を養う。			
学習到達目標	共同作業を行うことで	ジコミュニケー	ション能力を身につける	る。想像力を養	<b>逢う。滑舌の向</b>	<b></b> 百上。		
評価方法	出席率	・授業態度・期	末試験・表現力等を総合	合的に評価する	<b>ప</b> .			
週数	授 業 内	容			到達目標·	学習課題など		
1	卒業制作の説明。ク	゛ループ分け。		グルー	ープを分け、シ	ノナリオ等を考	える。	
2	サムネ・構成・打	た合わせ		ジャケット	資料等を持ち	寄り、構成な	どを決定す	
3	ソム个・"柟风・打	ンロリビ				5.		
4	撮影・デザイン	作業①						
5	撮影・デザイン	作業②		打ち合	わせで決めた	こサムネを作品	戈する。	
6	撮影・デザイン	′作業③		1				
7								
8								
9								
10		_		各グループに分かれ台本を制作する。コミュニケーションをとりながらお互いにアイデアを出し、起承 転結を考えながら台本を完成させる。				
11	台本制作	F						
12								
13								
14								
15	前期未討	験						
16	台本チェ	ック		前期一	で仕上げた台	本をチェック	する。	
17				-	≐成した女士	で日ハたせて		
18	リハーサ	ル		アニメや外画 ればならない	国と違い、音声 ハ。如何に想ん	でリハをする。 もだけで全てる 象力を働かせ	を表現しなけ られるか。身	
19				体的表	長現も意識し	ながら練習を	する。	
20								
21								
22				11144 4 4 4		<b></b>	<b>⊥</b> -₩ ^	
23	収録・BGM・S	SE選定		り返	えし、より良い	する。妥協を ように録って 作品作りを行	iò.	
24				また作品	に合わせたE	BGM・SEを選	定する。	
25								
26								
27								
28	編集作	¥		く。作品をデ	完成させる上	携しグループ でBGMやSE	もとても重	
29					要であること	を理解する。		
30	後期末詞	験						
				1				

					VA2	2-20	
10#NDA			担当者名		櫻井	<b>井</b> 潤	
授業科目名	オーディション対策(2)		実務経験				
****\*	・配布資料(プリント)	単位数 4	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
教科書		時間数 120	声優アーティスト科	2年	通年	必修	講義·実習
授業概要	オーディション対策(1)の授業内容の続編の1.オーディションの内容を理解する。2.セルフプロデュースについて理解する。3.各種プロダクションのオーディション(職)	講義として「		,			
学習到達目標	1. 声優、タレント、俳優の仕事について理解 2. 発表を通してプレゼンテーション能力を引 3. 自己プロフィールの制作。 4. オーディションを通じて声優アーティスト	高める。		を知る。			
評価方法	実技試験及び課題提出、出席率等を加味し	総合評価とす	<sup>-</sup> నం				
週数	授業内	容			到達目標·勻	学習課題など	
1	オーディション対策 (1) 写真撮影 ポージング、春・夏コーデ			プロフィール	レシートの作成	Ì	
2	//			プロフィール	シートの作成	ί	
3	オーディション対策 (2) 写真撮影 全身・バストアップ(プロフ用)			プロフィール	シート添削		
4	"			プロフィール	シート添削		
5	オーディション対策 (3) プロフィールシートの作成 その1			プロフィール	シート下書き		
6	// // // // // // // // // // // // //			プロフィール	シート下書き		
7	オーディション対策 (3) プロフィールシートの作成 その2			プロフィール	シート完成		
8	II			プロフィール	シート完成		
9	オーディション対策 (3) 模擬オーディション 自己PR、歌唱、セリフ			模擬オーディ	イション実施		
10	ll ll			模擬オーディ	イション実施		
11	オーディション実践(1) ・職業実践専門課程における一環教育として	(各種オーデ	イションを実施	プロダクションして必要な表現		ベイスを頂き声優	アーティストと
12	オーディション実践(2) ・職業実践専門課程における一環教育として	(各種オーデ	ィションを実施	プロダクションして必要な表現		ベイスを頂き声優	アーティストと
13	オーディション実践(3) ・職業実践専門課程における一環教育として	・ 各種オーデ	ィションを実施	プロダクションして必要な表現		ベイスを頂き声優	アーティストと
14	オーディション実践(4) ・職業実践専門課程における一環教育として	(各種オーデ	ィションを実施	プロダクションして必要な表現	担当者よりアド/ 見力をつける。	ベイスを頂き声優	アーティストと
15	前期末試験			プロダクションして必要な表現		ベイスを頂き声優	アーティストと
16	オーディション実践(5) ・職業実践専門課程における一環教育として	- 各種オーデ	ィションを実施	プロダクションして必要な表現		ベイスを頂き声優	アーティストと
17	オーディション実践(6) ・職業実践専門課程における一環教育として	「各種オーデ	ィションを実施	プロダクション:	担当者よりアド/ 見力をつける。	ベイスを頂き声優	アーティストと
18	オーディション実践(7) ・職業実践専門課程における一環教育として	「各種オーデ	ィションを実施	プロダクションして必要な表現		ベイスを頂き声優	アーティストと
19	オーディション実践(8) ・職業実践専門課程における一環教育として	「各種オーデ	ィションを実施	プロダクション:		ベイスを頂き声優	アーティストと
20	オーディション実践(9) ・職業実践専門課程における一環教育として	(各種オーデ	イションを実施	プロダクションして必要な表現		ベイスを頂き声優	アーティストと
21	オーディション実践(10) ・職業実践専門課程における一環教育として			プロダクションして必要な表現		ベイスを頂き声優	アーティストと
22	オーディション実践(11) ・職業実践専門課程における一環教育として			プロダクションして必要な表現		ベイスを頂き声優	アーティストと
23	オーディション実践(12) ・職業実践専門課程における一環教育として			プロダクションして必要な表現		ベイスを頂き声優	アーティストと
24	オーディション実践(13) ・職業実践専門課程における一環教育として	- 各種オーデ	ィションを実施	プロダクションして必要な表現		ベイスを頂き声優	アーティストと
25	オーディション実践(14) ・職業実践専門課程における一環教育として			プロダクションして必要な表現		ベイスを頂き声優	アーティストと
26	オーディション実践(15) ・職業実践専門課程における一環教育として			プロダクションして必要な表現		ベイスを頂き声優	アーティストと
27	オーディション実践(16) ・職業実践専門課程における一環教育として	「各種オーデ	ィションを実施	プロダクションして必要な表現		ベイスを頂き声優	アーティストと
28	オーディション実践(17) ・職業実践専門課程における一環教育として			プロダクションして必要な表現	担当者よりアド <i>/</i> 見力をつける。	ベイスを頂き声優	アーティストと
29	オーディション実践(18) ・職業実践専門課程における一環教育として	(各種オーデ	イションを実施	プロダクションして必要な表現		ベイスを頂き声優	アーティストと
30	後期末試験			自己PR、歌	唱、セリフ		
	1			1			

VA2-21
--------

			1	VA2-21			
授業科目名	自己表現技法(2)		担当者名	箱崎貴司			III
	<b>左₩八冷咖</b> +	単位数	実務経験			寅出経験多	数あり 
教科書	卒業公演脚本	4	学科	学年	学期	科目種別	授業方法
		時間数 120	- 声優アーティスト科	2年	通年	必修選択	講義·実習
授業概要	卒業後に声優、俳優として活動する為	に必要な土台	台と最低限の技術習得。	並びに2年間	の集大成とな	いる卒業公演(	の上演。
学習到達目標	声優、俳優とし	て活動するた	めの表現力を身につけ	る。卒業公演を	ዽ上演する。		
評価方法		出席率	、取り組む姿勢、実技試	験			
週数	授 業 内	容			到達目標·勻	学習課題など	
1	シアターゲーム1(伝達の基礎トレーニング)	)		伝える事、受	け止める事/	への理解を深	める
2	シアターゲーム2(身体操作のトレーニング)	)		動く事で第三	三者からどう	映るか客観性	を磨く
3	セリフ基礎1			セリフの意味	‡を理解して注	深める癖をつ	ける
4	セリフ基礎2			セリフを言葉	ミにして相手!	こ届ける感覚	を掴む
5	動きとセリフの連動1			不自然になり	うない動き、お	台詞を学ぶ	
6	動きとセリフの連動2			心情と動きの	の同調を目指	वि	
7	エチュード(即興劇)1			何もない状態 トレーニング		物語を創造し	完結させる
8	エチュード(即興劇)2			前回のレッス想力と想像な		いた改善点を	修正して発
9	台本実習(短編)1			短いシーンを く	を繰り返し稽さ	古して読解力	を高めてい
10	台本実習(短編)2			前回のレッスシーン創りに		事を活かして	より伝わる
11	台本実習(抜粋)1			脚本の抜粋し	したシーンを	読解しつつ稽	古していく
12	台本実習(抜粋)2			担当する役をいく	を変えて違う	視点から読解	力を高めて
13	台本実習(抜粋)3					と踏まえてセリ の回答を発表	
14	卒業公演準備			卒業公演に	句けての心構	え、準備等の	説明
15	テスト			実技試験(無	(言劇)		
16	卒業公演稽古			キャスティン	ヷ、読み合わ	せ	
17	卒業公演稽古2			読み合わせ、	共演者との	関係性の把握	
18	卒業公演稽古3			半立ち稽古、	台本を持って	て動いてみる	
19	卒業公演稽古4			前回の復習る	と先のシーン	の半立ち稽古	Ī
20	卒業公演稽古5			前回の復習る	と先のシーン	の半立ち稽古	Ī
21	卒業公演稽古6			前回の復習る	と先のシーン	の半立ち稽古	Ī
22	卒業公演稽古7			ここまでのシ	ノーンを再復習	<u> </u>	
23	卒業公演稽古8			先のシーンを	と半立ち稽古		
24	卒業公演稽古9			前回の復習る	と先のシーン	の半立ち稽古	ī
25	卒業公演稽古10			前回の復習る	と先のシーン	の半立ち稽古	ī
26	卒業公演稽古11			ここまでのシ	ノーンを再復習	NA E	
27	卒業公演稽古12			粗通し稽古、	小返し稽古		
28	卒業公演稽古13			通し稽古、小	返し稽古		
29	卒業公演稽古14			通し稽古、小	返し稽古		
30	卒業公演稽古15			稽古場ゲネス	プロ(テストを	兼ねる)	

				1	VA2-22			
数料値	授業科目名	   殺陣アクション						
本書			単位数			ı		
120   一世歌   74   24   34   34   34   34   34   34   3	教科書	14/11 B O	4					
				- 声優アーティスト科	2年	通年	必修選択	講義·実習
対象	授業概要	剣	析アクション、	格闘アクションの技術と	:知識の習得			
選数	学習到達目標	映像、舞台出演の	際にアクショ	ンシーンに出演可能な旨	最低限の技術:	を身につける	)	
1 アクションとは	評価方法		出席率	、取り組む姿勢、実技試	馈			
日 7 フランコン は	週数	授 業 内	容			到達目標·勻	学習課題など	
2	1	アクションとは				学ぶ上での注	注意点と最低	限の専門用
### 1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   1979   19	2	構え、扱いの基礎				構え、格闘アク	フションの構え	.、動きの基
5 アクション基礎3 約回の基礎をより洗練させる 6 段降アクション基礎1 1対1の簡単な發降、アクション練習 7 段降アクション基礎2 前回の復置と新しい振り付けの練習 8 段降アクション基礎3 前回の復置の後、成果の免表 9 多人数のアクション基礎2 前回の復置の後、成果の免表 10 多人数のアクション基礎2 前回の復置の後、成果の免表 11 多人数のアクション基礎3 前回の復置の後、成果の免表 12 段時を創る1 学生が主体でアクションの振り付けをする(刀) 13 段降を創る2 学生が主体でアクションの振り付けをする(刀) 14 段時を創る3 刀、打撃のアクションを学生が演出 15 テスト 銀作したアクションの発表 16 刀、格闘応用1 型易度の高い技術の習得を目指す 17 刀、格闘応用2 コツを掴むための反復練習 18 刀、格闘応用4 前回に引き続き練習、機度を上げていく 20 刀、格闘応用4 前回に引き続き練習、機度を上げていく 20 刀、格闘応用4 前回に引き続き練習、機度を上げていく 20 刀、格闘応用4 前回に引き続き練習、機度を上げていく 21 段降アクション創作応用1 よりアクション他の高い段降を学生で創作 22 段降アクション創作応用2 引き続き創作、問題点を洗い出す 23 段降アクション創作応用4 反復練習 出来上がった振り付けを反復練習 24 段降アクション創作応用4 反復練習 出来上がった振り付けを反復練習 25 段時アクション創作応用5 前回の復習の後、成果免表 26 アクション総合1 契断と格闘を合わせたアクション練習 27 アクション総合2 より正確に早く立ち回る練習 28 アクション総合3 復習と成果の免表	3	アクション基礎1			刀の振り方、	打撃の基本、	受け身の練習	3
日本日本	4	アクション基礎2			前回の復習。	,基礎なので	重点的に稽古	
7 段陣アクション基礎2 前回の復習と新しい振り付けの練習 前回の復習と新しい振り付けの練習 前回の復園と表しい振り付けの練習 前回の復園の後、成果の発表 第回の復園と表しい振り付けの練習 前回の復園と素しい振り付けの練習 前回の復園と素しい振り付けの練習 前回の復園と素しい振り付けをする(刀) 2 段陣を創る1 学生が主体でアクションの振り付けをする(刀) 13 段陣を創る2 学生が主体でアクションの振り付けをする(刀) 15 デスト 部作したアクションの発表 16 刀、指臀応用1 類易度の高い技術の器得を目指す フ・格闘応用1 類易度の高い技術の器得を目指す 17 刀、格闘応用2 コッを類むための反復練習 18 刀、格闘応用2 コッを掘むための反復練習 19 刀、格闘応用4 前回に引き続き練習、練度を上げていく 20 刀、格闘応用4 前回に引き続き練習、練度を上げていく 20 刀、格闘応用5 復習と成果の発表 21 段陣アクション創作応用1 よりアクション性の高い段陣を学生で創作 22 段陣アクション創作応用3 出来上がった振り付けを反復練習 24 段陣アクション創作応用4 反復練習、出来上がった振り付けを反復練習 24 段陣アクション創作応用5 前回の復園の後、成果発表 25 段陣アクション創作応用5 前回の復園の後、成果発表 26 アクション総合2 より正確に早く立ち回る練習 27 アクション総合2 より正確に早く立ち回る練習 28 アクション総合4 復習と成果の発表 29 アクション総合4 復習と成果の発表 20 保証に早く立ち回る練習 28 アクション総合4 復習と成果の発表 20 保証に早く立ち回る練習 28 アクション総合4 復習と成果の発表 27 アクション総合4 復習と成果の発表 29 アクション総合4 復習と成果の発表 20 保証に早く立ち回る練習 28 アクション総合4 復習と成果の発表 29 アクション総合4 復習と成果の発表 20 保証に見るを表 20 保証に見る 20	5	アクション基礎3			前回の基礎を	をより洗練さ	せる	
8 殺陣アクション基礎1 前回の復置の後、成果の発表 9 多人数のアクション基礎1 1対数名の簡単な殺陣、アクション練習 10 多人数のアクション基礎2 前回の復置の後、成果の発表 11 多人数のアクション基礎3 前回の復置の後、成果の発表 12 殺陣を創る1 学生が主体でアクションの振り付けをする(刀) 13 殺陣を創る2 学生が主体でアクションの振り付けをする(打撃) 14 殺陣を創る3 刀、打撃のアクションを学生が演出 15 デスト 創作したアクションの発表 16 刀、格闘応用1 難易度の高い技術の習得を目指す 17 刀、格闘応用2 コツを掴むための反復練習 18 刀、格闘応用3 短いアクションに取り入れての技術活用練習 19 刀、格闘応用4 前回に引き続き練習、練度を上げていく 20 刀、格闘応用4 前回に引き続き練習、練度を上げていく 20 刀、格闘応用5 復習と成果の発表 21 殺陣アクション創作応用1 よりアクション他の高い殺陣を学生で創作 22 殺陣アクション創作応用2 引き続き創作、問題点を洗い出す 23 殺陣アクション創作応用3 出来上がった振り付けを反復練習 24 殺陣アクション創作応用4 反復練習 25 殺陣アクション創作応用5 前回の復習の後、成果発表 26 アクション総合1 判所と格闘を合わせたアクション練習 27 アクション総合2 より正確に早く立ち回る練習 28 アクション総合3 復習と成果の発表	6	殺陣アクション基礎1			1対1の簡単	な殺陣、アク	ション練習	
9 多人数のアクション基礎2 前回の復習と新しい振り付けの練習 前回の復習と新しい振り付けの練習 前回の復習と新しい振り付けの練習 前回の復習と新しい振り付けをする(刀) 学生が主体でアクションあ版引 第四の復習の後、成果の発表 学生が主体でアクションの振り付けをする(刀) 3 税簿を創る2 学生が主体でアクションの振り付けをする(打撃) 14 税簿を創る3 刀、打撃のアクションを学生が演出 15 テスト 創作したアクションの発表 16 刀、格闘応用1 難易度の高い技術の習得を目指す 17 刀、格闘応用2 コツを掴むための反復練習 18 刀、格闘応用2 コツを掴むための反復練習 19 刀、格闘応用4 前回に引き続き練習、練度を上げていく 20 刀、格闘応用4 前回に引き続き練習、練度を上げていく 20 刀、格闘応用5 復習と成果の発表 21 税簿アクション創作応用1 よりアクション創作応用2 引き続き創作、問題点を洗い出す 23 税簿アクション創作応用4 反復練習 出来上がった振り付けを反復練習 24 税簿アクション創作応用4 反復練習、間合いの微調整 前回の復習の後、成果発表 19 アクション総合2 より正確に早く立ち回る練習 27 アクション総合2 より正確に早く立ち回る練習 28 アクション総合4 復習と成果の発表	7	殺陣アクション基礎2			前回の復習る	と新しい振り	付けの練習	
10 多人数のアクション基礎2 前回の復習と新しい振り付けの練習 11 多人数のアクション基礎3 前回の復習の後、成果の発表 12 段陣を創る1 学生が主体でアクションの振り付けをする(刀) 13 段陣を創る2 学生が主体でアクションの振り付けをする(打撃) 14 段陣を創る3 刀、打撃のアクションを学生が演出 15 テスト 創作したアクションの発表 16 刀、格闘応用1 難易度の高い技術の習得を目指す 17 刀、格闘応用2 コツを掴むための反復練習 18 刀、格闘応用3 短いアクションに取り入れての技術活用練習 19 刀、格闘応用4 前回に引き続き練器、練度を上げていく 20 刀、格闘応用5 復置と成果の発表 21 投陣アクション創作応用1 よりアクション性の高い投陣を学生で創作 22 投陣アクション創作応用2 引き続き創作、問題点を洗い出す 23 投陣アクション創作応用2 引き続き創作、問題点を洗い出す 24 投陣アクション創作応用4 反復練習 24 投陣アクション創作応用5 前回の復習の後、成果発表 26 アクション総合1 契痛と格闘を合わせたアクション練習 27 アクション総合2 より正確に早く立ち回る練習 28 アクション総合3 復習。練度を上げる 29 アクション総合4 復習と成果の発表	8	殺陣アクション基礎3			前回の復習の	の後、成果の	発表	
11 多人数のアクション基礎3 前回の復習の後、成果の発表  12 穀陣を創る1 学生が主体でアクションの振り付けをする(刀)  13 殺陣を創る2 学生が主体でアクションの振り付けをする(打撃)  14 殺陣を創る3 刀、打撃のアクションを学生が演出  15 テスト 創作したアクションの発表  16 刀、格闘応用1 雑鳥度の高い技術の習得を目指す  17 刀、格闘応用2 コツを掴むための反復練習  18 刀、格闘応用3 短いアクションに取り入れての技術活用練習  19 刀、格闘応用4 前回に引き続き練習、練度を上げていく  20 刀、格闘応用5 復習と成果の発表  21 殺陣アクション創作応用1 よりアクション性の高い殺陣を学生で創作  22 殺陣アクション創作応用2 引き続き創作、問題点を洗い出す  23 殺陣アクション創作応用3 出来上がった振り付けを反復練習  24 殺陣アクション創作応用4 反復練習、同合いの微調整  25 殺陣アクション創作応用5 前回の復習の後、成果発表  26 アクション総合1 判断と格闘を合わせたアクション練習  27 アクション総合2 より正確に早く立ち回る練習  28 アクション総合3 復習、練度を上げる  29 アクション総合3 復習、練度を上げる  29 アクション総合4	9	多人数のアクション基礎1			1対数名の簡	簡単な殺陣、ア	クション練習	
2   段陣を創る1   学生が主体でアクションの振り付けをする(刀)   13   段陣を創る2   学生が主体でアクションの振り付けをする(打撃)   14   段陣を創る3   刀、打撃のアクションを学生が演出   15   テスト   創作したアクションの発表   16   刀、格闘応用1   難易度の高い技術の習得を目指す   17   刀、格闘応用2   コツを掴むための反復練習   18   刀、格闘応用2   コツを掴むための反復練習   19   刀、格闘応用4   前回に引き続き練習、練度を上げていく   20   刀、格闘応用4   前回に引き続き練習、練度を上げていく   20   刀、格闘応用5   復習と成果の発表   21   段陣アクション創作応用1   よりアクション創作応用2   引き続き創作、問題点を洗い出す   22   段陣アクション創作応用2   引き続き創作、問題点を洗い出す   24   段陣アクション創作応用3   出来上がった振り付けを反復練習   24   段陣アクション創作応用4   反復練習、間合いの微調整   10   10   10   10   10   10   10   1	10	多人数のアクション基礎2			前回の復習る	と新しい振り	付けの練習	
対験性を創る2   学生が主体でアクションの振り付けをする(打撃)	11	多人数のアクション基礎3			前回の復習の	の後、成果の	発表	
14 殺陣を創る3 刀、打撃のアクションを学生が演出 15 テスト 創作したアクションの発表 16 刀、格闘応用1 難易度の高い技術の習得を目指す 17 刀、格闘応用2 コツを掴むための反復練習 18 刀、格闘応用3 短いアクションに取り入れての技術活用練習 19 刀、格闘応用4 前回に引き続き練習、練度を上げていく 20 刀、格闘応用5 復習と成果の発表 21 殺陣アクション創作応用1 よりアクション性の高い殺陣を学生で創作 22 殺陣アクション創作応用2 引き続き創作、問題点を洗い出す 23 殺陣アクション創作応用3 出来上がった振り付けを反復練習 24 殺陣アクション創作応用4 反復練習、問合いの微調整 25 殺陣アクション創作応用5 前回の復習の後、成果発表 26 アクション総合1 剣術と格闘を合わせたアクション練習 27 アクション総合2 より正確に早く立ち回る練習 28 アクション総合3 復習。練度を上げる 29 アクション総合4	12	殺陣を創る1			学生が主体	でアクションの	の振り付けを	する(刀)
15       テスト       創作したアクションの発表         16       刀、格闘応用1       難易度の高い技術の習得を目指す         17       刀、格闘応用2       コツを掴むための反復練習         18       刀、格闘応用3       短いアクションに取り入れての技術活用練習         19       刀、格闘応用4       前回に引き続き練習、練度を上げていく         20       刀、格闘応用5       復習と成果の発表         21       投陣アクション創作応用1       よりアクション側作応用2       引き続き創作、問題点を洗い出す         23       投陣アクション創作応用3       出来上がった振り付けを反復練習         24       投陣アクション創作応用4       反復練習、間合いの微調整         25       投陣アクション総合1       剣術と格闘を合わせたアクション練習         27       アクション総合2       より正確に早く立ち回る練習         28       アクション総合3       復習と成果の発表	13	殺陣を創る2			学生が主体	でアクションの	の振り付けを	する(打撃)
16 刀、格闘応用1 難易度の高い技術の習得を目指す 17 刀、格闘応用2 コツを掴むための反復練習 18 刀、格闘応用3 短いアクションに取り入れての技術活用練習 19 刀、格闘応用4 前回に引き続き練習、練度を上げていく 20 刀、格闘応用5 復習と成果の発表 21 殺陣アクション創作応用1 よりアクション性の高い殺陣を学生で創作 22 殺陣アクション創作応用2 引き続き創作、問題点を洗い出す 23 殺陣アクション創作応用3 出来上がった振り付けを反復練習 24 殺陣アクション創作応用4 反復練習、問合いの微調整 25 殺陣アクション創作応用5 前回の復習の後、成果発表 26 アクション総合1 契術と格闘を合わせたアクション練習 27 アクション総合2 より正確に早く立ち回る練習 28 アクション総合3 復習。練度を上げる 29 アクション総合4 復習と成果の発表	14	殺陣を創る3			刀、打撃のア	クションを学	生が演出	
17       刀、格闘応用2       コツを掴むための反復練習         18       刀、格闘応用3       短いアクションに取り入れての技術活用練習         19       刀、格闘応用4       前回に引き続き練習、練度を上げていく         20       刀、格闘応用5       復習と成果の発表         21       殺陣アクション創作応用1       よりアクション性の高い殺陣を学生で創作         22       殺陣アクション創作応用2       引き続き創作、問題点を洗い出す         23       殺陣アクション創作応用3       出来上がった振り付けを反復練習         24       殺陣アクション創作応用4       反復練習、間合いの微調整         25       殺陣アクション創作応用5       前回の復習の後、成果発表         26       アクション総合1       剣術と格闘を合わせたアクション練習         27       アクション総合2       より正確に早く立ち回る練習         28       アクション総合3       復習と成果の発表         29       アクション総合4       復習と成果の発表	15	テスト			創作したアク	アションの発表	Ę	
18	16	刀、格闘応用1			難易度の高い	い技術の習得	を目指す	
19 刀、格闘応用4 前回に引き続き練習、練度を上げていく 20 刀、格闘応用5 復習と成果の発表 21 殺陣アクション創作応用1 よりアクション性の高い殺陣を学生で創作 22 殺陣アクション創作応用2 引き続き創作、問題点を洗い出す 23 殺陣アクション創作応用3 出来上がった振り付けを反復練習 24 殺陣アクション創作応用4 反復練習、間合いの微調整 25 殺陣アクション創作応用5 前回の復習の後、成果発表 26 アクション総合1 剣術と格闘を合わせたアクション練習 27 アクション総合2 より正確に早く立ち回る練習 28 アクション総合3 復習。練度を上げる 29 アクション総合4	17	刀、格闘応用2			コツを掴むた	こめの反復練	習	
20刀、格闘応用5復習と成果の発表21殺陣アクション創作応用1よりアクション性の高い殺陣を学生で創作22殺陣アクション創作応用2引き続き創作、問題点を洗い出す23殺陣アクション創作応用3出来上がった振り付けを反復練習24殺陣アクション創作応用4反復練習、間合いの微調整25殺陣アクション創作応用5前回の復習の後、成果発表26アクション総合1剣術と格闘を合わせたアクション練習27アクション総合2より正確に早く立ち回る練習28アクション総合3復習。練度を上げる29アクション総合4復習と成果の発表	18	刀、格闘応用3			短いアクショ	ンに取り入れ	こての技術活用	用練習
21       殺陣アクション創作応用1       よりアクション性の高い殺陣を学生で創作         22       殺陣アクション創作応用2       引き続き創作、問題点を洗い出す         23       殺陣アクション創作応用3       出来上がった振り付けを反復練習         24       殺陣アクション創作応用4       反復練習、問合いの微調整         25       殺陣アクション創作応用5       前回の復習の後、成果発表         26       アクション総合1       剣術と格闘を合わせたアクション練習         27       アクション総合2       より正確に早く立ち回る練習         28       アクション総合3       復習。練度を上げる         29       アクション総合4       復習と成果の発表	19	刀、格闘応用4			前回に引き約	続き練習、練歴	度を上げてい	<
22       殺陣アクション創作応用2       引き続き創作、問題点を洗い出す         23       殺陣アクション創作応用3       出来上がった振り付けを反復練習         24       殺陣アクション創作応用4       反復練習、問合いの微調整         25       殺陣アクション創作応用5       前回の復習の後、成果発表         26       アクション総合1       剣術と格闘を合わせたアクション練習         27       アクション総合2       より正確に早く立ち回る練習         28       アクション総合3       復習。練度を上げる         29       アクション総合4       復習と成果の発表	20	刀、格闘応用5			復習と成果の	の発表		
23殺陣アクション創作応用3出来上がった振り付けを反復練習24殺陣アクション創作応用4反復練習、問合いの微調整25殺陣アクション創作応用5前回の復習の後、成果発表26アクション総合1剣術と格闘を合わせたアクション練習27アクション総合2より正確に早く立ち回る練習28アクション総合3復習。練度を上げる29アクション総合4復習と成果の発表	21	殺陣アクション創作応用1			よりアクショ	ン性の高い刹	段陣を学生で値	訓作
24       殺陣アクション創作応用4       反復練習、間合いの微調整         25       殺陣アクション創作応用5       前回の復習の後、成果発表         26       アクション総合1       剣術と格闘を合わせたアクション練習         27       アクション総合2       より正確に早く立ち回る練習         28       アクション総合3       復習。練度を上げる         29       アクション総合4       復習と成果の発表	22	殺陣アクション創作応用2			引き続き創作	作、問題点を注	洗い出す	
25       殺陣アクション創作応用5       前回の復習の後、成果発表         26       アクション総合1       剣術と格闘を合わせたアクション練習         27       アクション総合2       より正確に早く立ち回る練習         28       アクション総合3       復習。練度を上げる         29       アクション総合4       復習と成果の発表	23	殺陣アクション創作応用3			出来上がった	た振り付けを	反復練習	
26       アクション総合1       剣術と格闘を合わせたアクション練習         27       アクション総合2       より正確に早く立ち回る練習         28       アクション総合3       復習。練度を上げる         29       アクション総合4       復習と成果の発表	24	殺陣アクション創作応用4			反復練習、間	引合いの微調	整	
27       アクション総合2       より正確に早く立ち回る練習         28       アクション総合3       復習。練度を上げる         29       アクション総合4       復習と成果の発表	25	殺陣アクション創作応用5			前回の復習の	の後、成果発	<del></del> 表	
28     アクション総合3     復習。練度を上げる       29     アクション総合4     復習と成果の発表	26	アクション総合1			剣術と格闘な	を合わせたア	クション練習	
29 アクション総合4 復習と成果の発表	27	アクション総合2			より正確に与	早く立ち回る	練習	
	28	アクション総合3			復習。練度を	上げる		
20 テフト 虚壮計略	29	アクション総合4			復習と成果の	の発表		
30   / ^     天汉叫峽	30	テスト			実技試験			

			VA2-23						
授業科目名	日本舞踊		担当者名	西崎千久沙					
		単位数	実務経験	日本舞踊講師40年					
教科書	日本舞踊関連のプリント	2	学科	学年	学期	科目種別	授業方法		
		時間数 60	声優アーティスト	2年	通年	必修選択	講義·実習		
授業概要	日本舞踊の歴史や基本の形及び芝居に必要 方を学ぶ・邦楽に慣れ親しむ	₹な表現力を <sup>5</sup>	学ぶ・行儀、所作振る舞	いを学ぶ・体草	幹を鍛える・浴	於衣の着付け <u>)</u>	及びたたみ		
学習到達目標	授業概要の全てを習得し、身につける								
評価方法	出席率、課題提出、実技試験								
週数	授 業 内	容		到達目標・学習課題など					
1	自己紹介・準備物の説明・授業での姿勢や、	アナー		授業内容を習	習得し身につ	ける			
2	準備物の確認・振りノートの書き方・体幹基	本トレーニン:	j	授業内容を習	習得し身につ	ける			
3	着付け・着物と紐のたたみ方・体幹基本トレ	ーニング		授業内容を習	 習得し身につ	ける			
4	着付け・着物と紐のたたみ方・体幹基本トレ	ーニング		授業内容を習	習得し身につ	ける			
5	体幹基本トレーニング・日本舞踊関連のプリ	リント配布と説	·····································	授業内容を習	習得し身につ	ける			
6	体幹基本トレーニング・所作振る舞い・扇の	扱い		授業内容を習	習得し身につ	ける			
7	体幹基本トレーニング・踊り・扇の扱い			授業内容を習	習得し身につ	ける			
8	体幹基本トレーニング・扇の扱い(復習)・振	りノート書き・	踊り	授業内容を習	 習得し身につ	ける			
9	体幹基本トレーニング・振りノート書き・踊り				授業内容を習得し身につける				
10	体幹基本トレーニング・振りノート書き・踊り	<u> </u>		授業内容を習得し身につける					
11	体幹基本トレーニング・振りノート書き・踊り	1		授業内容を習得し身につける					
12	体幹基本トレーニング・振りノート書き・踊り			授業内容を習得し身につける					
13	体幹基本トレーニング・振りノート書き・踊り	<u> </u>		授業内容を習得し身につける					
14	体幹基本トレーニング・振りノート書き・踊り	1		授業内容を習得し身につける					
15	前期末試験								
16	振りノート書き・踊り			授業内容を習得し身につける					
17	振りノート書き・踊り			授業内容を習得し身につける					
18	振りノート書き・踊り			授業内容を習得し身につける					
19	振りノート書き・踊り			授業内容を習	習得し身につ	ける			
20	振りノート書き・踊り			授業内容を習	習得し身につ	ける			
21	振りノート書き・踊り			授業内容を習	習得し身につ	ける			
22	振りノート書き・踊り			授業内容を習	習得し身につ	ける			
23	振りノート書き・踊り			授業内容を習	習得し身につ	ける			
24	振りノート書き・踊り			授業内容を習	習得し身につ	ける			
25	振りノート書き・踊り			授業内容を習	習得し身につ	ける			
26	振りノート書き・踊り			授業内容を習	習得し身につ	ける			
27	振りノート書き・踊り			授業内容を習得し身につける					
28	振りノート書き・踊り			授業内容を習得し身につける					
29	振りノート書き・踊り			授業内容を習得し身につける					
30	後期末試験								
	ı			1					

				VAL 27					
授業科目名	 ボーカル実習(2)		担当者名			英功	1 - 120+1		
			実務経験		ー(4度改名)、e ドーカル講師多	xpg他芸能プロ、 数 T	レコード会社		
教科書	教科書は指定しない	単位数 4	学科	学年	学期	科目種別	授業方法		
		時間数 120	声優アーティスト科	2年	通年	必修選択	講義·実習		
授業概要		<b>座学はボーカ</b> り	トレッチ(心身のウォール リストとして必要な知識 小心にボーカル技量向上	を共有する	トたレッスン				
学習到達目標		オーディ	ンョン通過、メジャーデt	<b>ニュー</b>					
評価方法	出席率(50%)・実技(50%)【①ピッチ(音程)②リズム③発声④表現力⑤ビジュアル(雰囲気・所作等)】								
週数	授業内容				到達目標·	学習課題など			
1	学校は社会(業界)に出るための、練習の場	である		本格的なレッス 具の扱い方につ	ンに入る前に、打	矣拶、礼儀、ルーノ	、スタジオや道		
2	習慣にすると良い事。準備の必要性及び、 腹式呼吸の基本とは	発声、ブレス、		突然良いパフォ 等ウォームアップ	ーマンスは生ま プ法を公開。発声	れない。声を出す 『等の基本につい	前のストレッチ ても触れる。		
3	オーディション対策			オーディションと 会社に興味を持		<b>北職面接と心得る</b>	。まずは受ける		
4	サムライに刀、板前に包丁、歌手にマイク			マイクの特性を		の魅力をより引き	出すため、マイ		
5	個別レッスン			それぞれの方向 を目指す。	性、個性、クセ等	等を客観的に分析	。魅力度アップ		
6	オーディション対策			自己PRの重要	性、緊張感にどう	う対応していくか	にも触れる。		
7	課題曲レッスン			オーディション 男女別に解説。	でよく使用される	る曲を元に、細部	こわたる解釈を		
8	ロスの少ない声、息とは			やみくもな全力投球は、いつか過度な疲労・故障・影響を及ぼすであろう。ムダの少ない声・息について理解する。					
9	個別レツスン								
10	母音の属性			日本の歌を歌う特性と法則性、		っかり理解する必	要がある。その		
11	課題曲レッスン								
12	デビュー前、デビュー後の生活あれこれ			歌手はタレント <sup>*</sup> あることを覚悟 報。	であり、タレント する。保険、税金	は自由業である。 会、必要経費等、気	個人事業主で 1って得する情		
13	個別レツスン								
14	模擬オーディション			前期でどれほと する時間。	成長しているか	、オーディション	を想定して表現		
15	模擬ライブ			「ショー」を一人 間。	でどのぐらい成	立させられるのか	か、試される時		
16	前期の復習、確認			前期でやってき	たことが錆びつ	いていないかの	確認。		
17	作詞講座			ヒット曲には、あの書き方を提案		る?過去のヒット	曲も交えて、詞		
18	個別レッスン								
19	セールスポイントは何だ!			平均点よりも何 手を例に、些細		武器、売りが欲し けよう。	い。既存の歌		
20	課題曲レッスン			7 Awa+ / F	1 *** + **** *** **** **** **** **** **	- たとの問わりナ	かっきまがら		
21	知らないと損する業界十訓				た方が良い事等	「々との関わり方 、講師自身の経験			
22	個別レツスン				+3+1-1-71	<b>、ファルエ・ボ</b> ・・フ ナ	の 自楽し士		
23	レコードコピーは上達の王道					いる歌手がいるも の個性など見えて			
24	課題曲レッスン								
25	お金の話			印税、給料、ファンクラブ、グッズ収入、レギュラー番組、ギャラ 単価他、講師の失敗談を交えながら。					
26	個別レッスン			20±44++++			= ,= 1 12 12		
27	基本だけにこだわらない			発声等基本は大切であるが、プロで生き抜くアーティストは皆 自分だけの感覚、方法論を持っている。自分なりの「型」って何 だ。意見交換したい。					
28	個別レッスン								
29	模擬オーディション			後期でどれほど成長しているか、オーディションを想定して表現 する時間。					
30	模擬ライブ			「ショー」を一人 間。	でどのぐらい成	立させられるのか	い、試される時		

				V/(2 23					
授業科目名	ヴォーカルレコーディング(2)		担当者名	小野寺明敏					
WALLE H		T-W-	実務経験	CM.ゲーム.アーティスト等、楽曲制作					
教科書	教科書なし	4	学科	学年	学期	科目種別	授業方法		
<i></i>	時間 12		声優アーティスト科	2年	通年	必修選択	実習		
授業概要	エンタメ業界デビューを踏まえた、オーディションフォリジナル楽曲制作等を通し、自己プロデュース能	プレゼン	ンのための音源制作。 列上と、エンタメ業界の理	里解とスキルフ	アップ。				
学習到達目標	   各会社オーディションの傾向を踏まえた楽曲選定と 	ヒ、オリ	ジナルも含めた音源制	作。					
評価方法	創作への努力と質。エンタメ業界デビューへの姿勢	めと行動	<b>办。出席率、課題提出。</b>						
週数	授 業 内 容				到達目標・学習課題など				
1	オーディション用楽曲_収録、細部チェック_対策。			近年の傾向と今年の対策。					
2	オリジナル楽曲の収録①~1年時作成楽曲。			楽曲構成_歌詞の	D確認				
3	○○○オーディション対策。楽曲選定-録音1。			近年の傾向と今	年の対策。				
4	○○○オーディション対策。楽曲選定-録音2。			近年の傾向と今	年の対策。				
5	自己PRの考え方、重要性。楽曲選定-録音。			前回オーディシ	ョンの改善点、対	<b>対策。</b>			
6	○○○オーディション対策。楽曲選定-録音1。			近年の傾向と今	年の対策。				
7	○○○オーディション対策。楽曲選定-録音2。			近年の傾向と今	年の対策。OK	テイク制作。			
8	言葉とメロディーの相関関係。				単語が求める旋律とは。				
9	オリジナル楽曲の収録②_1-2年時作成楽曲。				Key決定/メロディー表現の独自色付け。				
10	オリジナル楽曲の収録②_1-2年時作成楽曲。				楽曲構成、歌詞の決定。				
11	オリジナル楽曲の収録②_1-2年時作成楽曲。			収録_OKテイク	制作。				
12	オリジナル楽曲コーラス収録			コーラスの効果	理解。				
13	○○○オーディション対策。楽曲選定・録音。			近年の傾向と今	年の対策。				
14	オリジナル楽曲、既存曲_Live想定収録。			Live演出とパワ	7一配分。				
15	前期末試験								
16	自己PRの確認。楽曲選定-収録。			前回オーディシ	ョンの改善点、対	<b>対策。</b>			
17	オリジナル楽曲の収録③_1。			Key決定/メロディー表現の独自色付け。					
18	オリジナル楽曲の収録③_2。			楽曲構成、歌詞の決定。					
19	オリジナル楽曲の収録③_3。			収録_OKテイク制作。					
20	○○○オーディション対策。楽曲選定-録音1。			近年の傾向と今年の対策。					
21	○○○オーディション対策。楽曲選定-録音2。			近年の傾向と今	年の対策。				
22	○○○オーディション対策。楽曲選定-録音3。			近年の傾向と今年の対策。OKテイク制作。					
23	自己PRの確認。楽曲選定-収録。			前回オーディションの改善点、対策。					
24	Webオーディション対策_オリジナル.既存曲			業界各会社プレ	ゼン。				
25	オリジナル楽曲の収録④_1。			Key決定/メロ	ディー表現の独	自色付け。			
26	オリジナル楽曲の収録④_2。			楽曲構成。歌詞の決定。					
27	オリジナル楽曲の収録④_3。			収録_OKテイク制作。					
28	オリジナル楽曲の収録④_コーラス収録。			コーラス効果の提案。					
29	オリジナル楽曲、既存曲_Live想定収録。			Live演出とパワー配分。					
30	後期末試験								

1

				小野寺明敏				
授業科目名	ミュージックリテラシー(2)		担当者名					
	教科書なし	単位数	実務経験	CM.ゲーム.アーティスト等、				
教科書	教件音なし	2 時間数	学科 ————————————————————————————————————	学年	学期	科目種別	授業方法	
		60	声優アーティスト科	2年	通年	必修選択	実習	
授業概要	アーティストに必要な音楽的基礎知識を学び	びながら、DA	W、DTMソフトを活用	し楽曲制作、音	音源編集を行	÷>.		
学習到達目標	エンタメ業界で仕事する為の必要な知識を:	理解し修得す	る。DAWソフトを用い	て楽曲制作、	音楽全般の知	識を身に付	ける。	
評価方法	創作への努力と質。エンタメ業界デビューへ	の姿勢と行動	动。出席率、課題提出。					
週数	授 業 内	容			到達目標·勻	学習課題など		
1	同じ旋律に対してのコード付けのバリエーシ	/ョン1。		メロディーに	対して多角的	的な味付け。		
2	同じ旋律に対してのコード付けのバリエーシ	<b>/</b> ョン2。		メロディーに	対して多角的	的な味付け。		
3	フルコーラス楽曲のアレンジ進行の起伏1。			オリジナル楽	く く の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の <	聞き方。		
4	フルコーラス楽曲のアレンジ進行の起伏2。			オリジナル楽	・ 性曲の俯瞰的	聞き方。		
5	指定コード進行に対してのメロディー付けの	カバリエーショ	יטו.	コードに対し	ての使える	音階の理解。		
6	指定コード進行に対してのメロディー付けの	カバリエーショ	1ン2。	コードに対し	ての使える	音階の理解。		
7	オリジナル楽曲の作成1。			コード進行の確定。				
8	オリジナル楽曲の作成2。	メロディーライン作成。						
9	オリジナル楽曲の作成3。			メロディーライン作成。				
10	完成楽曲に対してのリズムアレンジバリエーション1。				リズムアプローチ変化での起伏の付け方。			
11	完成楽曲に対してのリズムアレンジバリエーション2。			リズムアプロ	]ーチ変化で(	の起伏の付け	方。	
12	個別楽曲の分析、メロディー、アレンジのチェック。			オリジナル曲	由の細部確認	と演奏技術の	確認。	
13	オリジナル楽曲の編集仕上げ1。			コード進行に	合わせてメ	ロディーの作	成。	
14	オリジナル楽曲の編集仕上げ2。			細部確認~	ミックス作業。	ō		
15	前期未試験							
16	作詞技法/新しい視点の考え方1。			サンプリンク	ではない自治	分の言葉選び	の重要度。	
17	作詞技法/新しい視点の考え方2。			サンプリングではない自分の言葉選びの重要度。				
18	個別楽曲の分析、メロディー、アレンジのチ	ェック1。		オリジナル曲の細部確認と演奏技術の確認。				
19	個別楽曲の分析、メロディー、アレンジのチュ	エック2。		オリジナル曲	的細部確認	と演奏技術の	確認。	
20	個々に難易度を上げた作曲アレンジの提案	1。		1ランクステ	ップアップの	為の制作への	D助言。	
21	個々に難易度を上げた作曲アレンジの提案	2。		1ランクステ	ップアップの	為の制作への	D助言。	
22	オリジナル楽曲の作成1。			コード進行の	)確定。			
23	オリジナル楽曲の作成2。			メロディーラ	イン作成。			
24	オリジナル楽曲の作成3。			メロディーライン_リズム作成。				
25	オリジナル楽曲の作成4。			アレンジの作	F成。			
26	オリジナル楽曲の作成5。			アレンジの完	記成。			
27	オリジナル楽曲の編集仕上げ1。			OKデータ作成と豊かな音作りの技術。				
28	オリジナル楽曲の編集仕上げ2。			収録した歌データの整音。				
29	オリジナル楽曲の編集仕上げ3。			細部確認~	ミックス作業。	0		
30	後期末試験							

VA2-27
--------

	_			VAZ-21					
授業科目名	エンターテインメントガイド(	2)	担当者名	渡辺 美登利 声優、ステージ活動経験					
			実務経験						
教科書	配布資料(プリント)	単位数 2	学科	学年	学期	科目種別	授業方法		
***1.1E		時間数 60	声優アーティスト科	2年	通年	選択	実習		
授業概要	表現	者として業界	すで活躍するための知識	、技術を学ぶ	<b>.</b>				
学習到達目標	プ	を習得する							
評価方法	出席率、授業態度、期末試験								
週数	授業内容				到達目標·勻	学習課題など			
1	基礎の振り込	∑り①							
2	基礎の振り込	基礎の振り返り②			日本語の基礎「五十音」の振り返り 定みなくクリアな発声、滑舌で				
3	基礎の振り込	<u></u>		読めるようになる					
4	台本「カレーラ	イス」①							
5	台本「カレーラ	イス」①		<b>∮</b>	実際に身体を係 表現力の	使って表現す の底上げ	3		
6	台本「カレーラ	イス」①							
7	オーディション原	稿練習①							
8	オーディション原	稿練習②		事務所入所に向けた対策、準備 更なるスキルアップを目指す 各々の弱みを克服する					
9	オーディション原	稿練習③					<b>†</b>		
10	オーディション原	稿練習④							
11									
12	模擬オーディション 課題原稿。自己PR、特技披露			本格的に始まるオーディションに向けた マンツーマンレッスン 自分の長所を伸ばし、短所をなくす					
13	·	対策、準備、練習				<b>50、近川で</b> は	. \ 9		
14	前期 期末試験 討	験問題配布							
15	前期 期末	試験							
16	前期の振り	返り		<u>×</u>	準備していた?	ものを確認す	<u>ა</u>		
17	台本「親友の気	遣い」①							
18	台本「親友の気	遣い」②		表現の幅を更に広げる 基礎を強化、応用できるようにする					
19	台本「親友の気	遣い」③							
20	台本「姉弟	J①							
21	台本「姉弟	12			な心理状況の				
22	台本「姉弟	13		) 澳しる除	の感情移入や 感受性を	を育てる	で同のの		
23	台本「姉弟	J@							
24					1				
25	事務所入所オーデー 事務所入所オーデー 対策、準備、	ィション対策 練習		オ- 準備して	ーディションに きたもののす 心身共に	「向けた最終詞 「なるブラッシ :調整する	調整 /ユアップ		
26					心才大に	·MATE A O			
27	2年間の総ま	2年間の総まとめ①			学んだこと	を振り返る			
28	2年間の総ま	とめ②		学んだことを振り返る - 成長した部分と今後の課題を知る					
29	後期 期末試験 討	験問題配布							
30	後期 期末	試験							

		\/\\2-29								
	Т		10 VI # 47	VA2-28						
授業科目名	ステージング実習(2)		担当者名 実務経験		一 俊ナ	井潤				
	・配布資料(プリント)	単位数	学科	学年	学期	科目種別	授業方法			
教科書		2 時間数	声優アーティスト科	2年	通年	選択	講義·実習			
授業概要	個々の能力の応じて下記内容の授業を実施 1. MCについて理解する。 2.ライブパフォーマンスについて離隔する。	60 する。ステー:				٠ الح	DT37. /			
学習到達目標	エンタテインメントの現場において下記内容を実施する。 1. MCパフォーマンス 2. ライブパフォーマンス									
評価方法	実技試験及び課題提出、出席率等を加味し総合評価とする。									
週数	授 業 内	容			到達目標・	学習課題など				
1	MCパフォーマンスについて・応用編(1)			MCパフォーマンスについて必要な表現力をつける。						
2	MCパフォーマンスについて・応用編(2)			MCパフォー	マンスについて	て必要な表現力	をつける。			
3	MCパフォーマンスについて・応用編(3)			MCパフォー	マンスについて	て必要な表現力を	をつける。			
4	MCパフォーマンスについて・応用編(4)			MCパフォー	マンスについて	て必要な表現力を	をつける。			
5	MCパフォーマンスについて・応用編(5)			MCパフォー	マンスについて	て必要な表現力を	をつける。			
6	MCパフォーマンスについて・応用編(6)			MCパフォー	マンスについて	て必要な表現力を	をつける。			
7	MCパフォーマンスについて・応用編(7)			MCパフォー	マンスについて	て必要な表現力を	をつける。			
8	MCパフォーマンスについて・応用編(8)			MCパフォーマンスについて必要な表現力をつける。						
9	ライブパフォーマンスについて・応用編(1)			ライブパフォ-	ーマンスについ	ハて必要な表現	力をつける。			
10	ライブパフォーマンスについて・応用編(2)			ライブパフォーマンスについて必要な表現力をつける。						
11	ライブパフォーマンスについて・応用編(3)			ライブパフォ-	ーマンスについ	ハて必要な表現だ	力をつける。			
12	ライブパフォーマンスについて・応用編(4)		ライブパフォ-	ーマンスについ	ハて必要な表現	力をつける。				
13	ライブパフォーマンスについて・応用編(5)			ライブパフォ-	ーマンスについ	ハて必要な表現	力をつける。			
14	ライブパフォーマンスについて・応用編(6)			ライブパフォ-	ーマンスについ	ハて必要な表現	力をつける。			
15	前期末試験									
16	J具へ		関係者よりアドバイスを	プロダクション テインメントの	ン担当者よりア	アドバイスを頂きな表現力をつける	 必要なエンタ る。			
17	MC・ライブパフォーマンスについて・応用編・企業連携における教育プロクラムとしてプログ	ロダクション	関係者よりアドバイスを	プロダクション テインメントの	ン担当者より7 D現場で必要な	アドバイスを頂きな表現力をつける	:必要なエンタ る。			
18	MC・ライブパフォーマンスについて・応用編・企業連携における教育プロクラムとしてプログ	ロダクション	関係者よりアドバイスを	プロダクション テインメントの	ン担当者より7 D現場で必要な	アドバイスを頂きな表現力をつける	:必要なエンタ る。			
19	MC・ライブパフォーマンスについて・応用編・企業連携における教育プロクラムとしてプログ	ロダクション	関係者よりアドバイスを			アドバイスを頂きな表現力をつける				
20	MC・ライブパフォーマンスについて・応用編・企業連携における教育プロクラムとしてプログ	ロダクション	関係者よりアドバイスを	プロダクション テインメントの	ン担当者より7 D現場で必要な	アドバイスを頂きな表現力をつける	:必要なエンタ る。			
21	MC・ライブパフォーマンスについて・応用編 ・企業連携における教育プロクラムとしてプロ 頂く	ロダクション	関係者よりアドバイスを			アドバイスを頂きな表現力をつける				
22	MC・ライブパフォーマンスについて・応用編・企業連携における教育プロクラムとしてプログ	ロダクション	関係者よりアドバイスを	プロダクション テインメントの	ン担当者より7 D現場で必要な	アドバイスを頂きな表現力をつける	:必要なエンタ る。			
23	MC・ライブパフォーマンスについて・応用編 ・企業連携における教育プロクラムとしてプロ 頂く	ロダクション	関係者よりアドバイスを	プロダクション担当者よりアドバイスを頂き必要なエンタ テインメントの現場で必要な表現力をつける。						
24	MC・ライブパフォーマンスについて・応用編 ・企業連携における教育プロクラムとしてプロ 頂く	ロダクション	関係者よりアドバイスを	プロダクション担当者よりアドバイスを頂き必要なエンタ テインメントの現場で必要な表現力をつける。						
25	MC・ライブパフォーマンスについて・応用編・企業連携における教育プロクラムとしてプロ 頂く	ロダクション	 関係者よりアドバイスを	プロダクション担当者よりアドバイスを頂き必要なエンタ テインメントの現場で必要な表現力をつける。						
26	MC・ライブパフォーマンスについて・応用編 ・企業連携における教育プロクラムとしてプロ I頂く	ロダクション	関係者よりアドバイスを	プロダクション テインメントの	ン担当者より7 D現場で必要な	アドバイスを頂きな表現力をつける	:必要なエンタ る。			
27	MC・ライブパフォーマンスについて・応用編・企業連携における教育プロクラムとしてプロス		関係者よりアドバイスを	プロダクション担当者よりアドバイスを頂き必要なエンタ テインメントの現場で必要な表現力をつける。						
28	MC・ライブパフォーマンスについて・応用編・企業連携における教育プロクラムとしてプリ頂く		関係者よりアドバイスを	プロダクション担当者よりアドバイスを頂き必要なエンタ テインメントの現場で必要な表現力をつける。						
29	MC・ライブパフォーマンスについて・応用編・企業連携における教育プロクラムとしてプリ頂く		関係者よりアドバイスを	プロダクション テインメントの	ン担当者より7 D現場で必要な	アドバイスを頂きな表現力をつける	·必要なエンタ る。			
30	後期末試験									